

ENVIRONMENTAL REPORT 2024

サイ클ーズ株式会社 環境報告書

【発行者】サイ클ーズ株式会社
経営戦略本部 経営企画部
〒140-0013
東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館8F
TEL: 03-6410-8797 FAX: 03-5767-8870

【発行】
2024年7月

 **Cyclers Group**

「“ヒト”と“モノ”を 活かし続ける」

社会を豊かにするスマートな“循環型経済”を創造する

編集方針

はじめに〈発行目的〉

サイ클ーズグループはサステナブルな経営の実現に資するために、以下の目的に基づいて環境報告書2024(以下、本報告書)を発行します。

- ①説明責任の遂行:ステークホルダーとの接点強化につなげます。
- ②経営改善への活用:本報告書をもとにしたESG(環境・社会・ガバナンス)評価や対話での指摘事項を社内にフィードバックをし、改善につなげます。
- ③適切な社外評価の獲得:企業のESG全般について関心の高いステークホルダーへの報告といたします。

対象期間・対象範囲

対象期間は2023年1月～12月を中心に、一部当該期間後の内容も含まれています。

対象範囲は持株会社であるサイ클ーズ株式会社を含むISO14001の対象である東港金属株式会社及びTML株式会社のデータを主として、連結子会社各社のデータを掲載しております。

対象範囲と異なるデータについては注釈を明記しています。

お問い合わせ窓口

本報告書に関するお問い合わせは、以下のページのメールフォームをご利用ください。

<https://www.cyclers.co.jp/job/contact/>

参考ガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン(2012年版)」を基に、「環境報告書ガイドライン(2018年版)」を参考にして作成しております。

発行日・発行者

発行日 2024年7月

発行者 サイ클ーズ株式会社
経営戦略本部 経営企画部

編集方針	02
トップメッセージ	03
サステナビリティビジョン	04
サイ클ーズ グループ概要	07
特集1 / 千葉工場 太陽光パネル設置	09
特集2 / 東京都「事業系廃棄物3Rルート多様化事業」	11
環境(実績報告)	13
社会(実績報告)	27
ガバナンス(実績報告)	29
Appendix	33

サーキュラーエコノミーを追求し、持続的で豊かな社会を築く

初めに

サイクラーズ株式会社は、2020年9月に資源リサイクル事業の純粋持株会社（サイクラーズグループ）として発足し、4年が経ちました。国の目指す循環型社会形成推進基本計画も第五次に入ろうとしている今、当社も資源循環というリングを強固なものにしていく事を目標に掲げ、サーキュラーエコノミーを追求しております。

コアである東港金属株式会社（1902年／明治35年創業）は、金属スクラップと産業廃棄物のリサイクル事業を通じて循環型社会への貢献を続けております。お預かりしたすべての物に再循環をもたらすためのテクノロジーを駆使し、一段とギアをアップさせ、グループ各社と共に、持続可能で豊かな社会をつくることを目指します。

サイクラーズグループは、これからもステークホルダーの皆様からのご支援とご協力を頂き、より具体的なサーキュラーエコノミーの実現に向けて邁進して参ります。

2023年 を振り返って

2022年後半からは、世界的に鉄スクラップ価格が上昇し、アフターコロナの需要回復と円安の影響を受けて市況が高止まりした一年でした。これに伴い、価格改定の回数が例年に比べて半減し、大きな変動がない穏やかな状態が続いたことは、皆様のご理解のとおりです。その中で、世界的に脱炭素化の流れが加速、電炉主原料となる鉄スクラップの価値が増すことに加え、中国の鉄鋼蓄積量の増加により、国内各業界の需要予測が依然として高まっています。更に、「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律（通称：再資源化事業等高度化法）」が2024年5月に公布されました。これが、将来の展望を明確にする上で重要な一歩となりました。

サイクラーズグループでは、更なる高度なリサイクル事業実現に向けて、軟質系廃プラの減容固化、廃プラスチックの高度選別を2024年度事業として開始に向け歩み始めました。また、サーキュラーエコノミーを追求する上で必要となるソリューションを共に開発することを期待し、「株式会社タツタサイクル」「株式会社インターコム」の2社をグループに招き、M&Aを通じてグループの成長を進めて参りました。

すべてはビジョンの実現のために

前述の「再資源化事業等高度化法」の公布により産廃業界特有の手続きの参入障壁が低下し、様々な業界から新たな動きが生まれると確信します。また、世界的な気候変動の認識が年々高まる中、国内需要の緊迫した課題と脱炭素の取り組みに政府が本格的に動き出すでしょう。

サイクラーズグループは、こうした外部環境の追い風を受けて、思い描くサーキュラーエコノミーを実現するための具体的な成長戦略を策定し、2024年に入り新たに2社「三立処理工業株式会社」「株式会社サナース」がグループ入りしました。両社がグループを牽引するインオーガニックな成長基盤を創ると期待しています。これは、中期経営計画内のミッション達成における重要なマイルストーンであり、既存事業の知見と組み合わせ、テクノロジーに加えて両社機能を駆使した課題解決を図ることを目指します。

最後に

弊社は、「サーキュラーエコノミーを追求し、持続的で豊かな社会を築く」ことが社会的責任の一環であると考えています。この急速な変化に資源リサイクルで適応するだけでなく、リユース、リメイク、リペア、リビルド、ITツール開発などのサーキュラーエコノミーの推進に欠かせないリソースを活用し、既存事業との相乗効果を生み出し、環境負荷の低減に向けて新たな一歩を踏み出してまいります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。



2024年7月31日
サイクラーズ株式会社 代表取締役 福田 隆

サイクラーズグループの目指す姿

Purpose

サーキュラーエコノミーを
追求し、持続可能で豊かな
社会をつくります。

Vision

すべてのものに
再循環をもたらします。

Values

テクノロジー 感動
誠実さ スピード 挑戦

■ 私たちが目指すサーキュラーエコノミー

経済と“モノ”があって、“ヒト”が集まる ——

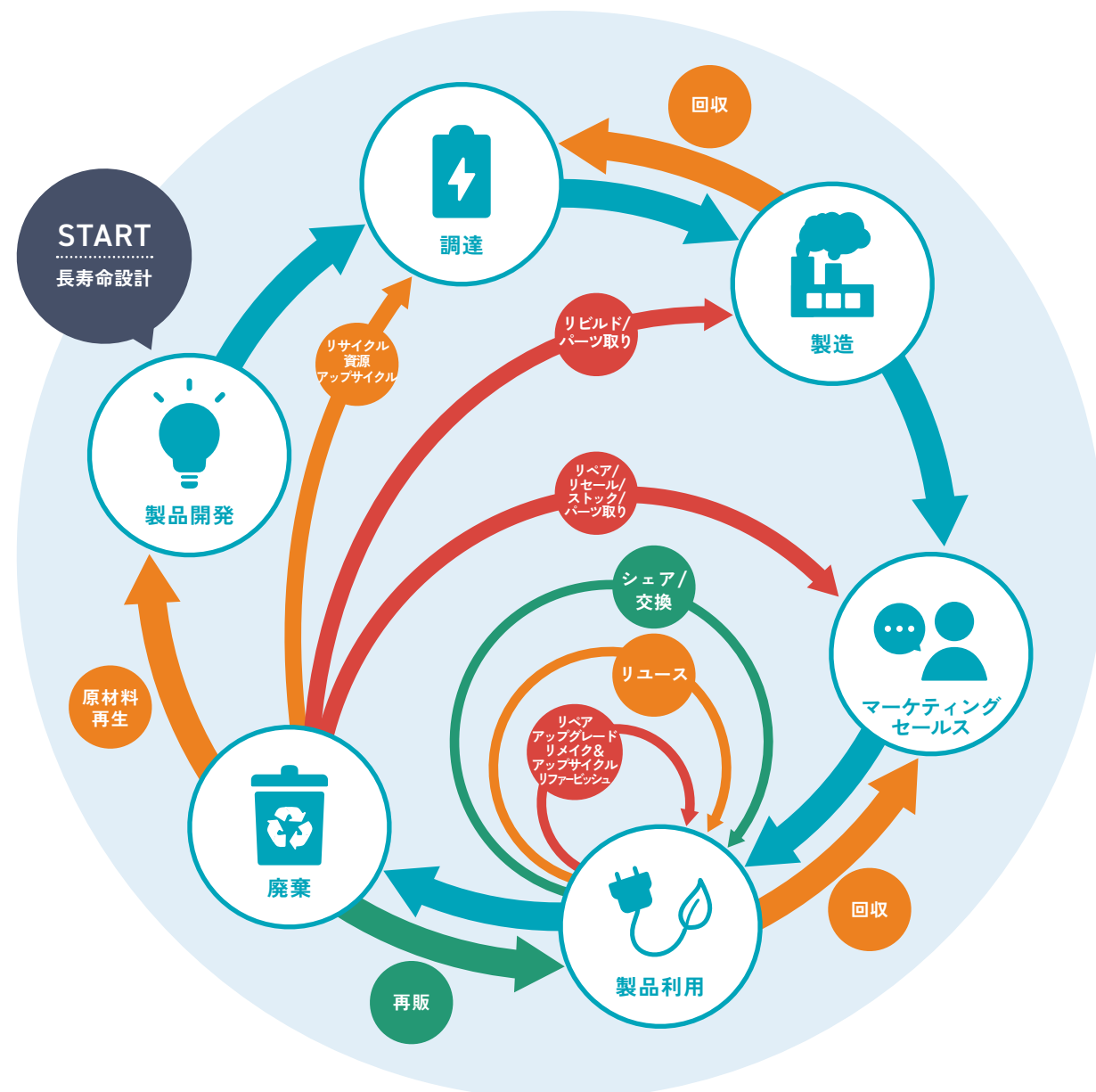
“ヒト”と“モノ”を活かし続け、捨てる概念をなくすことで

サーキュラーエコノミーを実現させれば、

“ヒト”と“モノ”の価値を最大限に活かせる社会をつくりあげることができます。

わたしたちサイ클ーズはサーキュラーエコノミーに足りないピースを

連続的に埋め込んでまいります。



■ サーキュラーエコノミーのパートナーになるために

サイ클ーズグループでは、2030年・2050年の温室効果ガス排出削減の環境目標の達成および脱炭素社会の実現に向け、以下の戦略的アプローチのもと環境対策を推進して参ります。次に例として東港金属での取り組みを紹介します。

廃プラ類由来 高機能資材製造

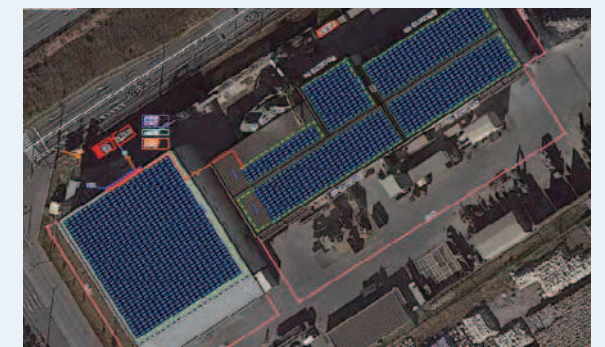
ASR他から回収したプラスチック類を原料として、石炭等の化石燃料代替固形燃料(RPF)を製造し、CO2排出の低減と枯渇性資源の節減、埋め立て処分場の延命に寄与します。



固形燃料

自社消費型 太陽光発電設備の導入

中間処理工場において屋根置き型の太陽光発電設備の導入を進めており、千葉工場では2024年初旬に運用を開始、2030年までには京浜島工場にも導入を計画しております。



千葉工場の太陽光発電設備 全景

排出権取引制度の活用

使用する電力の100%を再生可能エネルギー電力への切替(RE100)を目指す等、国際的なイニシアティブへ参加し取組んで参ります。



本社を含む全事業所および工場の使用電力を順次切り替え

省エネ設備へ入替

フォークリフトやユンボ等の工場内設備の他、社用車等のあらゆる設備機器を省エネ性能の高いものへ順次入れ替える取り組みを推進して参ります。



車両の電動化を順次推進



資源リサイクル事業

東港金属 株式会社



資源リサイクル・廃棄物中間処理

原料再生の総合リサイクラーとして産業廃棄物処理・スクラップ売買を行っております。環境マネジメントの概念を理解し、環境保全に対応した金属類の再資源化及び産業廃棄物中間処理業務を通して持続可能な環境づくりに努めております。資源のリサイクル率向上を目指し、資源の再循環に貢献してまいります。

- 産業廃棄物処分業(中間処理) ●産業廃棄物収集運搬業 ●自動車リサイクル法に基づく破砕業(千葉工場のみ) ●優良産業廃棄物処理業者認定(中間処理業及び収集運搬業)
- 東京都 産廃 エキスパート認定(中間処理業及び収集運搬業)
- 第1種フロン類回収業者登録 ●ISO 14001認証 ●ISO 27001認証 ●古物商 第301139601116号



公式サイト

トライメタルズ 株式会社



再生資源商社

非鉄金属製品・スクラップの販売及び輸出を行っております。独自の販売リソースを活かし、中国・東南アジア各国向けに品質とコストパフォーマンスの高い資源循環ビジネスを展開しております。これからもビジネスを拡充し続け、サイ클ーズグループのグローバル化に寄与してまいります。

- ISO27001認証



公式サイト

三立処理工業 株式会社



環境保護と産業発展の共生

2024年1月にサイ클ーズのグループ会社となりました。廃酸・廃アルカリ・廃油をはじめとする産業廃棄物の全般的な業務(収集運搬・清掃業務)を行っております。環境保護と産業発展の両立のため、環境問題を直視した業務を長年の実績で築いたネットワークを活かし、循環型社会の構築と人と地球にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

- 産業廃棄物収集運搬業 ●特別管理産業廃棄物収集運搬業 ●優良産業廃棄物処理業者認定(収集運搬業) ●ISO14001認証



公式サイト

サーキュラーソリューション事業

株式会社 サナース



環境関連機械設備の輸入販売・サービス

2024年6月にサイ클ーズのグループ会社となりました。機械工学分野において優れた環境先進国ドイツを中心に欧州で開発されたリサイクル・環境関連機械設備、マテハン機、林業機械等の輸入販売・サービスを行っております。事業に関わる全ての人々との関係を大切に、確実と思いやりを持って事業運営を行ってまいります。

- とび・土工事業 ●機械器具設置工事 ●古物商 第451310004507号



公式サイト

株式会社 タツタサイクル



自転車・部品、オートバイ用品等のECサイト運営及び卸売業

2023年4月にサイ클ーズのグループ会社となりました。自転車用品、オートバイ用品の販売を中心に、サイクルパーツ・メンテナンス用品・工具・アクセサリ・バイクタイヤなど国内外100以上のブランドを幅広く取り扱っております。お客様満足度の高い商品を提案していくことで自転車人口を増やし、環境にやさしい自転車を文化として根付かせていくよう尽力してまいります。



公式サイト

TML 株式会社



再生資源運送・廃棄物収集運搬

産業廃棄物の収集運搬業務や一般貨物の輸送業務を行っております。幅広い取り扱い品目と広範囲の収集可能エリアがあり、サイ클ーズグループの物流を支えております。2021年には社名を「トライマテリアル株式会社」から「TML株式会社」に変更、ロジスティクスの速度と精度の向上、機能の高度化・国際化を一層追求してまいります。

- 産業廃棄物収集運搬業 ●特別管理産業廃棄物収集運搬業 ●優良産業廃棄物処理業者認定(収集運搬業)
- 東京都 産廃 エキスパート認定(収集運搬業)
- ISO14001認証 ●ISO27001認証



公式サイト

トライシクル 株式会社



ITプラットフォーム・中古品売買

世界初BtoB不用品回収・リユース品販売プラットフォーム「ReSACO」、産廃・建廃特化型の電子契約サービス「エコドラフト with クラウドサイン」を開発・運営しております。テクノロジーとイノベーションを用いたチャレンジングな試みを通して、理想の循環社会の実現に向け歩んでまいります。

- ISO 27001認証 ●JIP-ISM517-1.0(ISO/IEC 27017) ●古物商 第302161904671号



公式サイト

株式会社 リ・セゾン



リースアップ品のリユース

2022年8月に株式会社クレディセゾンとサイ클ーズ株式会社の合併会社として設立しました。リースアップ物件の販売・マテリアルリサイクルを通じた再循環・再資源化。資産の残存価値を高く評価し、高効率で循環させることによる新しい二次流通市場を形成します。リユースネットワークの構築と価値創造を目指してまいります。

- 古物商 第302162220111号 ●ISO 27001認証



公式サイト

株式会社 インターコム



BtoB向けソフトウェアソリューションの企画・開発

2023年7月にサイ클ーズのグループ会社となりました。3G、LTE、4G、5Gと長年にわたり通信キャリア様向けインフラ設計、構築、保守・運用を主たる事業としております。私たちの社会的使命は、「社会に貢献できる人材育成」と考えており、今後はクラウド系業務にも事業範囲を広げ、全社員で邁進していく所存です。

- プライバシーマーク認定 第10821543号



公式サイト

サイ클ーズ 株式会社

グループ統括・リサイクルスキーム提案／構築

サイ클ーズグループの事業統括・スキーム提案を行い、グループのIT戦略・企画及びグループ会社を含む共有システムの維持管理を担っております。グループ各社をつなぎ、あらゆるループを推進し、サーキュラーエコノミーを追求することで静脈・動脈産業の垣根を越えて大きな役割を果たしてまいります。

- ISO 14001認証 ● ISO 27001認証



公式サイトはこちら



東京都・地産地消型再エネ増強プロジェクト

東港金属千葉工場に環境負荷の少ない太陽光パネルを用いた発電設備を設置し、2024年3月14日に竣工式を行い、電力供給を開始し、同工場の使用電力の一部を再生可能エネルギー電力で賄っております。

なお、本発電設備の導入は、地産地消型再生可能エネルギー発電等、設備の導入拡大を推進することで、温室効果ガスの排出削減、電力系統への負荷軽減を図る取り組みであることが評価され、東京都の地産地消型再エネ増強プロジェクト助成金(都外設置)事業に採択をされております。

これにより、自家消費型の再エネ設備(太陽光パネル発電設備)の設置費用の削減と、屋根上スペースの有効活用に繋がりました。



太陽光パネルを設置した東港金属千葉工場全景

東港金属は2050年の温室効果ガス排出削減の環境目標の達成および脱炭素社会の実現に向け、環境対策を推進しており、2050年迄に事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目標に掲げております。本事業実現により千葉工場における再生可能エネルギー電力の割合は約 20%となり、今後も2050年までの目標に向けて着実に脱炭素化への取り組みを進めています。

太陽光発電設備の概要

設置場所	東港金属株式会社 千葉工場 〒293-0011 千葉県富津市新富52-1
パネル設置容量	797.16Kw
年間発電量	881,204kwh
年間CO2削減量	311.71トン
施工会社	株式会社サニックス



2024年3月14日 太陽光発電設備の竣工式の様子

データサイエンスを活用した産業廃棄物処理選別作業における 安全性・労働生産性向上

東京都実証事業へ採択、実証事業を実施

東港金属は、東京都環境局が行っている令和5年度「事業系廃棄物3R ルート多様化事業」に採択され、共同で実証事業を実施しました。本事業の報告書は下記に掲載されております。

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/various3Rroutes/>

事業の背景、目的

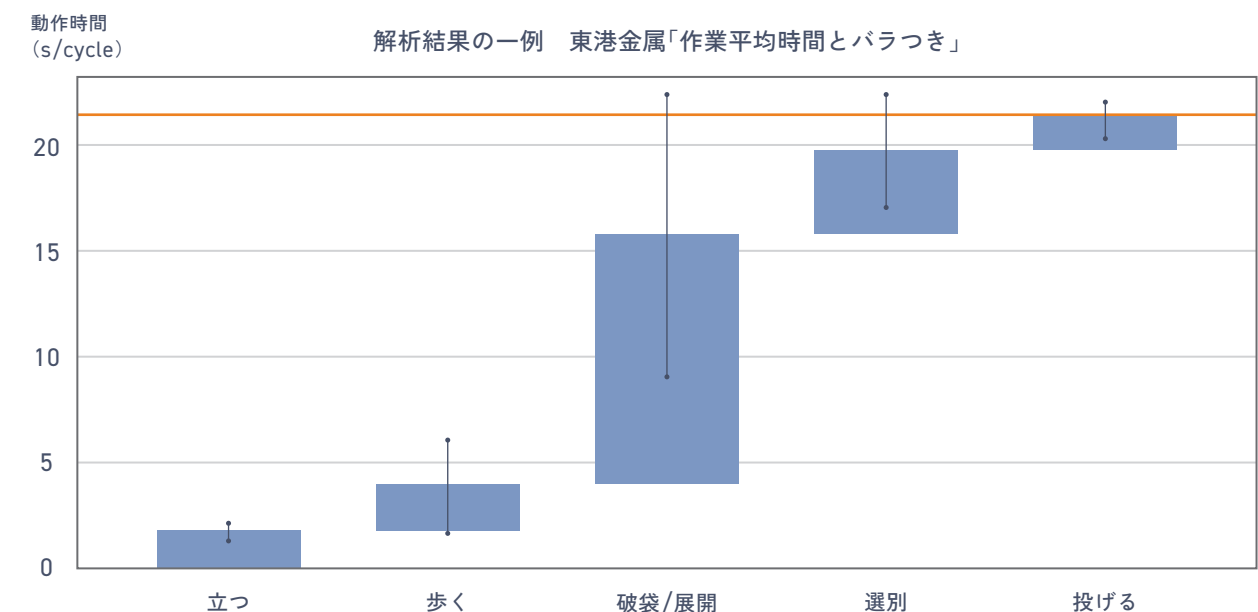
中間処理業者の廃棄物処理の現場では、日々複数の種類の廃棄物が様々な形状、状態で搬入されます。搬入と同時に検査・計量が行われ、その後選別や破碎などの処理工程に移ります。処理工程の中には、異物・発火物混入防止のため、一つ一つ人力で開梱し展開検査を行う「土間選別」があります。本事業では中間処理施設における土間選別の改善に焦点を当て事業を進めました。



データ解析による土間選別の課題抽出

現場では勘/コツ/経験による改善活動が行われますが、汎用性や継続性の低い対策となってしまう場合が多くみられます。これを解決するには、データに基づく客観的な検証/判断が必要です。

本事業では、骨格認証を用いて人を自動認識する作業解析モデルを作成し、土間選別において実証実験を行いました。結果は下図に見られるように、土間選別においては破袋/展開に工数がかかっており、課題になっていることが分かりました。さらに、作業者ごとに見ていくことで「誰が」「何を」苦手としているか分かり、現場に対して効果的な改善策を提示することが可能になりました。



設備開発による土間選別改善

現在の土間選別は人力で行われていますが、人力から機械へ作業を転換することによって、作業の精度向上による品質向上も期待できます。

本事業では、土間選別専用の破袋機/展開機を開発し、実際の処理現場にて実証実験を行いました。これらの設備導入によって、作業効率の大幅向上、事故発生の撲滅、危険物発見率の向上、そしてリサイクル率の向上に繋がることが分かりました。





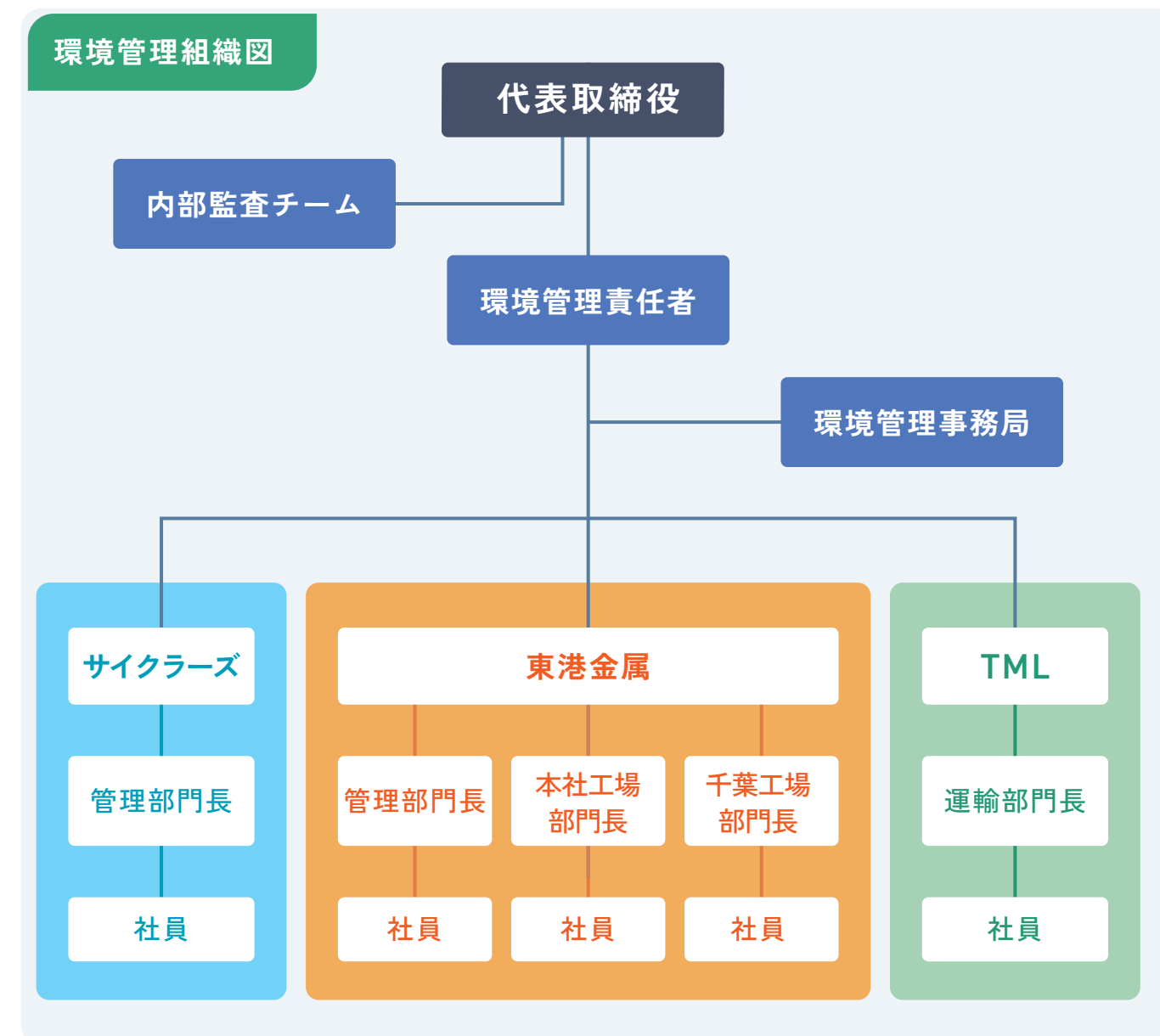
環境マネジメントシステム

サイ클ーズ株式会社、東港金属株式会社及びTML株は、事業活動の様々な過程において環境負荷が生じることを認識し、環境方針を定め、環境マネジメントシステムのもとで環境負荷を正確に把握し、その低減を通じて、持続可能な開発目標の達成に貢献しております。

環境方針は常に職場内に掲示し、社内に周知させることで、社員が労働災害や労働疾病防止をはじめとする様々な側面を意識し、環境負荷の少ないリサイクル業務に取り組めるよう指導しております。

東港金属株式会社は2006年7月にISO14001を認証取得し、TML株式会社（当時はトライマテリアル株式会社）は2009年7月、サイ클ーズ株式会社は2021年7月に加わりました。

代表取締役をトップとする推進体制で、定期的にフォローアップをすることで可視化し、環境方針に沿った管理体制の維持向上に努めております。



環境方針

サイ클ーズ株式会社・東港金属株式会社

サイ클ーズ株式会社及び東港金属株式会社（以下、「当組織」という）は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

1. 当組織の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境パフォーマンス向上のために環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当組織の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当組織が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。
 - (1) 取扱商品の入荷量を拡大し、当組織より排出する産業廃棄物の削減を図り、天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
 - (2) 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
 - (3) 各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、環境負荷削減を推進します。
 - (4) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、環境負荷削減を推進します。

TML 株式会社

TML株式会社は東港金属株式会社の協力会社として同社の環境方針に同調し、資源循環型社会の一翼を担う収集運搬業者として、環境負荷の少ない環境活動に取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

1. TML株式会社の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境パフォーマンス向上のために環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. TML株式会社の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当組織が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。
 - ・各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、環境負荷削減を推進します。



環境への取組み

当グループは、事業活動、製品及びサービスが環境に影響を与える原因・活動を常に認識して、周辺地域への環境に配慮し、環境負荷低減・予防に努めております。

東港金属 京浜島工場・千葉工場の操業に伴って発生する騒音・振動・粉じん。及び構内から排出される雨水の含有成分を自主的に測定し、開示しています。

第79期の測定値は規制基準値（もしくは自主規制基準値）内でした。今後とも環境負荷低減に努めてまいります。

下記の環境調査結果（概要版）は当グループのホームページにて開示しております。

東港金属株式会社環境調査結果（騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水）

〈調査実施機関〉株式会社環境総合研究所【計量証明登録 濃度第592号、音第7号、振動1号】
〈調査期日〉京浜島工場：令和5年5月24日（金） 千葉工場：令和5年2月9日（木）
〈調査方法〉当該地域を規制する条例等の調査方法を採用（詳細は、弊社ホームページ参照）
〈調査結果〉適否の欄の記号は次のとおり。○：規制基準を満足 ×：規制基準を超過

1. 騒音レベル調査結果

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準（参考）	騒音測定時の状況
京浜島工場	敷地境界（東）	9:31~9:41	65dB	○	70dB	工場内の稼働音
千葉工場	敷地境界（南）	16:00~16:10	68dB	○	70dB	工場内の稼働音

注）京浜島工場：工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第4種区域の規制基準を参考に示した。千葉工場：工業地域であるため、第4種区域の基準を当てはめた。

2. 振動レベル

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準（参考）	騒音測定時の状況
京浜島工場	敷地境界（東）	9:31~9:41	45dB	○	65dB	工場稼働
千葉工場	敷地境界（南）	16:00~16:10	53dB	○	65dB	工場稼働

注）京浜島工場：工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第2種区域の規制基準を参考に示した。千葉工場：当該地域は工業地域であるため、第2種区域の基準を当てはめた。

3. 悪臭

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果	適否	規制基準（参考）
京浜島工場	敷地境界（東）	10:40	<10	○	13
	敷地境界（北）	10:50	<10		
千葉工場	敷地境界（風上）	11:25	<10	○	-
	敷地境界（風下）	10:55	<10		

注）京浜島工場：工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第3種区域の規制基準を参考に示した。
千葉工場：富津市は臭気物質規制であり、臭気指数規制はまだ規定されていない。

4. 粉じん

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準（参考）
京浜島工場	敷地境界（東）	9:12~13:12	0.32mg/m ³	○	1.5 mg/m ³
千葉工場	敷地境界（南）	10:00~16:00	0.13mg/m ³	○	1.5 mg/m ³

注）東京都、千葉県ともに施設から発生する粉じん濃度には規制値は存在しないため、参考までに茨城県条例で粉じん発生施設に適用される基準値と比較した。

5. 雨水排水

「下水の水質の検定方法等に関する省令（昭和37 年厚・建令1）」に基づき、下記項目について調査を実施。全ての項目で下水道基準値を満足しておりました。

〈調査項目〉カドミウム、全シアン、有機燐、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ハウ素、フッ素、全クロム、銅、亜鉛、フェノール、溶解性鉄、溶解性マンガ、BOD、SS、n -ヘキサン（鉱油）、n -ヘキサン（動植物油）、全窒素、全リン、水素イオン濃度（pH）、温度、酸素消費量、1,4-ジオキサン

環境関連法規制遵守の現状

東港金属及びTMLの事業に係る主な環境関連法規制は以下のとおりです。
2023年（東港金属第79期）で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

環境側面	法・条例等	要求事項（当社該当主要項目のみ）	該当施設等	該当部署	必要資格	
地球温暖化	工場立地法	駐車場及び緑地面積：8%以上 敷地緑地20%（8315㎡）以上	京浜島工場敷地 千葉工場敷地	-	-	
排気ガスの放出	大気汚染防止法	ばい煙排出基準規制値遵守 ばい煙量の判定監視	非常用 ディーゼル発電機	千葉工場	-	
自動車運行	道路交通法	自動車免許、速度制限、積載制限、 アルコールチェック	運搬車両 自家用車	運輸部門 営業部門	運転免許	
	Nox・PM法	規制対応車輛			運行管理者認証	
	道路運送法	運行管理者の設置				
〔業〕廃棄物の受入れ 収集運搬及び処分業	廃棄物処理法	廃棄物再生業／ 廃棄物の収集運搬及び処分業の許可	業としての 被処理物の受入	全部署	収集運搬業 （積替保管） 中間処理業古物商	
		廃棄物の保管施設への掲示板の設置				
		委託基準の順守				
		産廃物搬出入時のマニフェスト伝票管理、 及び行政報告				
		マニフェスト伝票の保管管理（A票含む）				
		廃棄物処理責任者の設置				
〔事業者〕 廃棄物の排出		〈二社契約〉許可番号、事業の範囲、有効期限、 処理能力、重量、単価等の記載	業務全般からの排出			
		産廃最終処分業者の処分場視察				
		環境に負荷を与えない施設の維持管理				
		資源化を推進し、最終処分量の削減				
		地域住民との協調				
廃家電の受入・保管	家電リサイクル法	家電リサイクルの受入れ保管 家電リサイクルの指定引取場所への搬出	特定家庭用機器 廃棄物	運輸部門	積替保管施設	
トラックスケールの使用	計量法	トラックスケール台貫計量誤差検定 （1回/2年 検査の実施）	トラックスケール （20t、40t、50t） トラックスケール（60t）	生産部門 （京浜島工場） 生産部門（千葉工場）	-	
フロン類の回収 フロン使用機器	フロン排出抑制法	東京都知事による登録 千葉県知事による登録 適正回収、工程管理制度、回収証明書の交付 エアコン機器の簡易定期点検	業としての 受入・回収 エアコン	業としての 受入・回収 全部署	第一種フロン類 充填回収業者 冷媒フロン類取扱技術者	
悪臭の発生	悪臭防止法	年一回以上の検査 臭気指数基準の順守	工場棟及び工場内設備	京浜島工場 生産部門	-	
火災の発生	消防法	火災発生件数：0件 指定可燃物の貯蔵量	全域 工場棟及び工場内設備	全部署 生産部門	-	
水銀廃棄物の管理	廃棄物処理法施行令	水銀廃棄物の適正な管理	運搬車両	運輸部門	収集運搬業	
材料及びエネルギー使用を 物品の購入時に考慮	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、 環境に与える負荷を軽減する	事務用品全般	事務部門	-	

環境会計

東港金属及びTMLとしての環境会計の算出方法を模索しておりますが、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて（2000年3月）」に記載されておりますように、環境保全コストの把握に関しては今後の課題とさせていただきます。

〈参考〉「本業として環境ビジネス（公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理・リサイクル事業等）に取り組む場合の環境保全コストの把握（測定）」に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握（測定）・公表することを妨げるものではありません。この問題については今後の課題とさせていただきます。」平成12年3月 環境庁

グリーン購入の促進

当グループでは社内に物品調達に関して、共有使用できるものやリユースできるものの再使用を推進しているほか、グリーン購入の考えに即した環境負荷低減に資する製品を積極的に使用することに努めております。

バリューチェーンにおける環境配慮等の取組み

当グループの事業活動におけるバリューチェーンに関わる全ての環境影響を認識し、その中で環境負荷の大きなものを重点テーマとして改善を図っております。

目標と達成状況

当グループは、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上化の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。このページではISO14001の適用範囲（東港金属本社、京浜島工場、千葉工場、TML及びサイ클ーズ）の環境目標・年度環境実行計画に基づくデータを掲載いたしました。

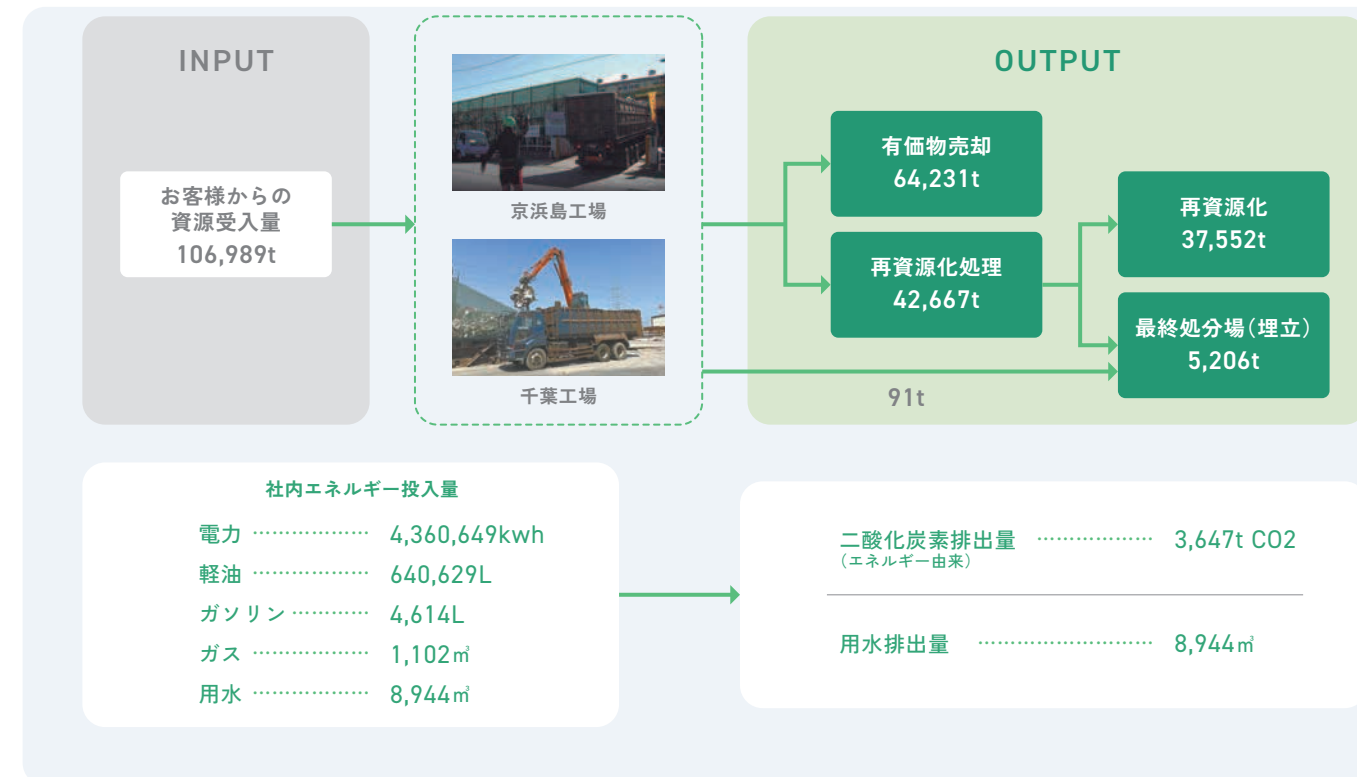
推進項目	施策	期間目標	結果
資源受入量の拡大 ※1	(1)仕入先の拡大(営業活動)	目標 106,518t/年 達成	Clear ✓
燃料使用量の削減 ※2(運搬車両)	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹き過ぎ防止 (3)急発進の防止 (4)効率的な積み降ろし・運搬 (5)車両の定期点検・整備	目標 1,050L/千トン 達成	Clear ✓
燃料使用量の削減 ※3(重機車両)	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹き過ぎ防止 (3)効率的な積み降ろし・運搬 (4)車両の定期点検・整備	目標 1,789L/千トン 達成	Clear ✓
電力使用量の削減 ※4(本社工場)	(1)破碎機モーター稼働時の ライン設備トラブル減少 (2)定期的メンテナンスの実施	目標 10,800kWh/千トン 達成	Clear ✓
電力使用量の削減 ※5(千葉工場)	(1)破碎機モーター稼働時の ライン設備トラブル減少 (2)定期的メンテナンスの実施	目標 48.16kWh/トン 達成	Clear ✓

※1 資源受入量は、本社工場と千葉工場への新規受入量の合計です。
 ※2 燃料使用量原単位(運搬車両)＝運搬車両燃料使用量/本社品入出荷量
 ※3 燃料使用量原単位(重機)＝重機用燃料使用量/本社品入出荷量

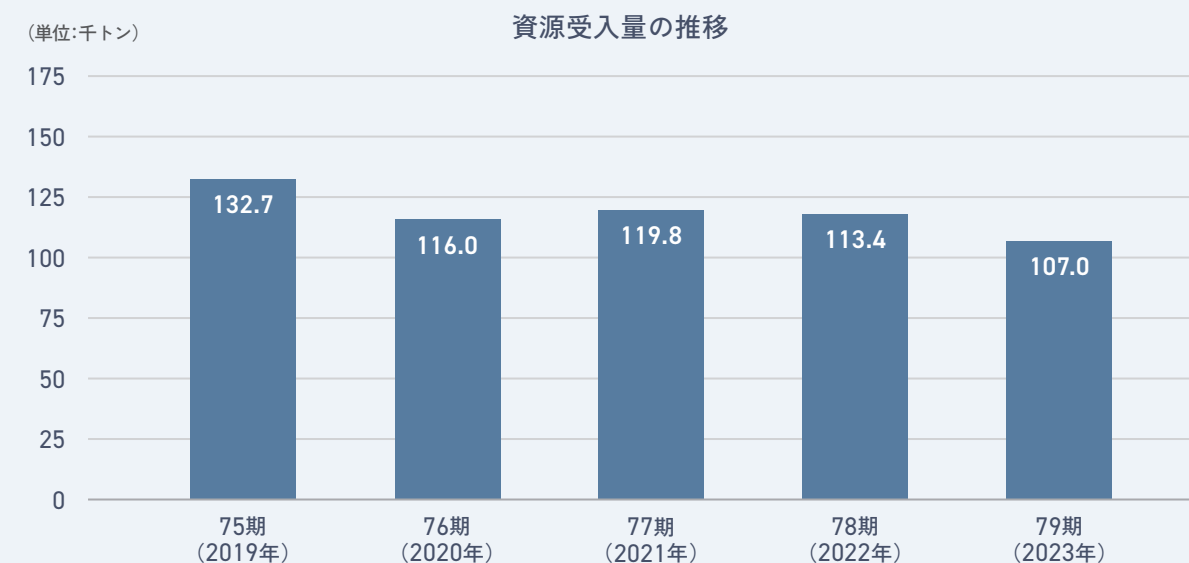
※4 電力使用量原単位(本社)＝電力使用量/本社品入出荷量
 ※5 電力使用量原単位(千葉工場)＝電力使用量/千葉工場入荷量

マテリアルバランス

サイ클ーズ、東港金属及びTMLの事業活動に伴い投入された電力や化石燃料などの各種エネルギーは下記のとおりです(第79期)。



二酸化炭素排出量計算(排出係数)の根拠
 〈電力〉電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)
 [R2年度実績] R4.1.7 環境省・経済産業省公表、R4.2.17 一部修正、R4.7.14 一部追加・更新 環境省・経済産業省公表の基礎排出係数より
 〈用水〉東京都地球温暖化対策報告制度「地球温暖化対策報告書作成ツールv8.4 換算係数マスター」より



サイ클ーズグループがLCAに取り組む理由

世界でカーボンニュートラルに向けた動きが加速しております。企業においても気候変動が経営に与える影響を考慮し、リスクや機会への対応を経営戦略として行うことが重要となりました。

当グループの東港金属は1902年（明治35年）に創業して以来、金属加工と産業廃棄物のリサイクル事業を通じて、資源循環型社会の実現に取り組んでまいりました。近年は、リユース・水平リサイクルなどより環境負荷が低い方法によるサーキュラーエコノミーの追求に注力しています。しかしながら、単に環境に優しい方法を採用するだけでなく、本当に環境負荷が低いリサイクル手法を客観的に評価する必要があると考えています。そのため、私たちはLCA評価を通じて、環境負荷の算定を行っています。

私たちは、より良い未来のために環境負荷を低減し、資源循環型社会の実現に向けて今後も積極的に取り組んでまいります。

東港金属 千葉工場におけるLCA評価

2022年4月より東港金属 千葉工場におけるLCA評価を開始いたしました。

スクラップ受入～出荷までを対象（生産される一部の品目を除く）としており、評価結果はHP上で公開しております。

2023年1月～12月 GHG（温室効果ガス）削減効果

28,708t CO2削減※

杉の木約204万本相当

※スクラップ生産による控除分バージン材から製造した場合との比較

Tips 二酸化炭素1トンってどれくらい？

二酸化炭素1トンは杉の木約71本が
1年で吸収する二酸化炭素に相当します。



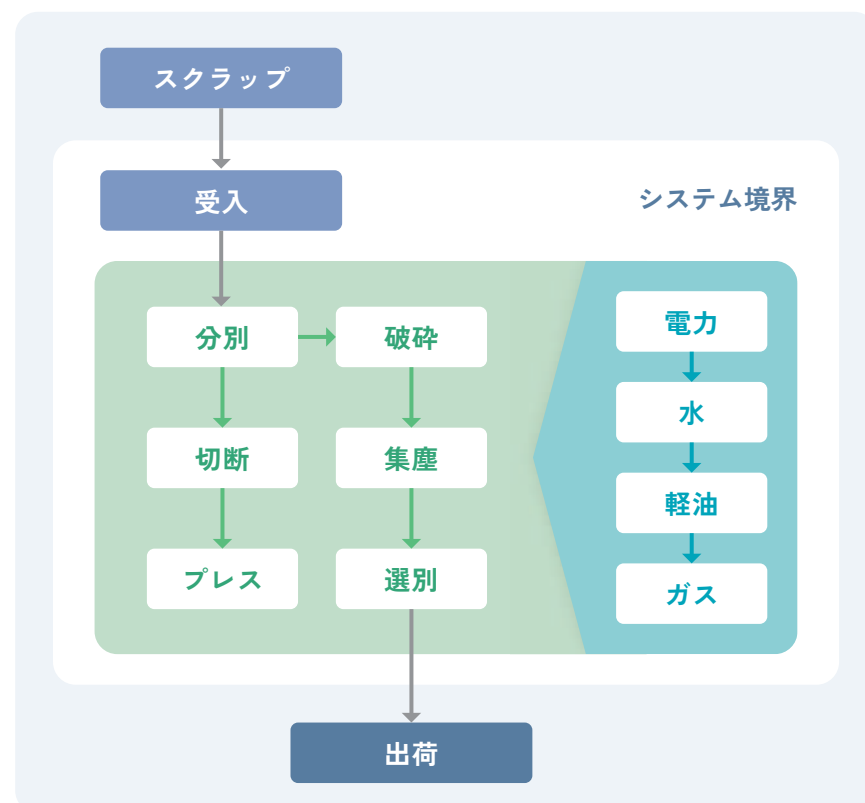
(1) 目的及び調査範囲の設定

目的の設定

- ①意図する用途
報告書に記載し、一般に公開
- ②実施する理由
対象の環境影響を明らかにするため

調査範囲の設定

- ①調査対象
東港金属 千葉工場
- ②機能
〈主破碎〉
1,000馬力
〈選別方法〉
磁力選別、カラー選別、手選別など
- ③システム境界
右図（生産される一部の品目を除く）



(2) インベントリ分析(2023年1月～12月)

再生				控除（生産されたスクラップ量）			
入出力項目		収集データ		入出力項目		収集データ	
入力	電力	2,805,773	KWh	出力	鉄	30,208	t
入力	軽油	238,024	L	出力	ステンレス	467	t
入力	酸素	9,695	m³	出力	アルミ	739	t
入力	プロパンガス	266	m³	出力	MIXメタル	2,168	t
入力	都市ガス	141	m³	出力	モーターコア	89	t
入力	炭酸ガス	68	m³	出力	金銀銅滓	125	t
入力	水	5,390	m³	出力	SSピッキング	39	t
入力	工場設備	235,956	k¥				
出力	ダスト	633,482	t				

品目	CO2発生控除量（トン）
ダスト	10,686.05
電力	1,343.97
軽油	848.02
工場設備	731.27
水	23.26
都市ガス	0.50
プロパンガス	0.95
酸素	1.15
炭酸ガス	0.02
再生用：鋳物用アルミスクラップ	-17,926.20
再生用：棒鋼用鉄スクラップ	-8,944.80
再生用：ステンレス	-1,134.04
再生用：MIX鋼	-703.02

インベントリ分析には、一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構「EVS3環境帳簿」を用いました。試験的取り組み且つ月間報告の為、影響評価と解釈は省いております。

GXリーグ参画

サイ클ーズ株式会社は、2022年度より経済産業省が公表した「GXリーグ基本構想」への賛同を表明していました。そして、2023年度からは本格稼働する「GXリーグ」※に参画しました。

削減目標の設定、排出量実績の算定・報告を行い、当グループの脱炭素社会への取組を可視化していきます。また、参画企業と連携し、2050年カーボンニュートラルを目指していきます。

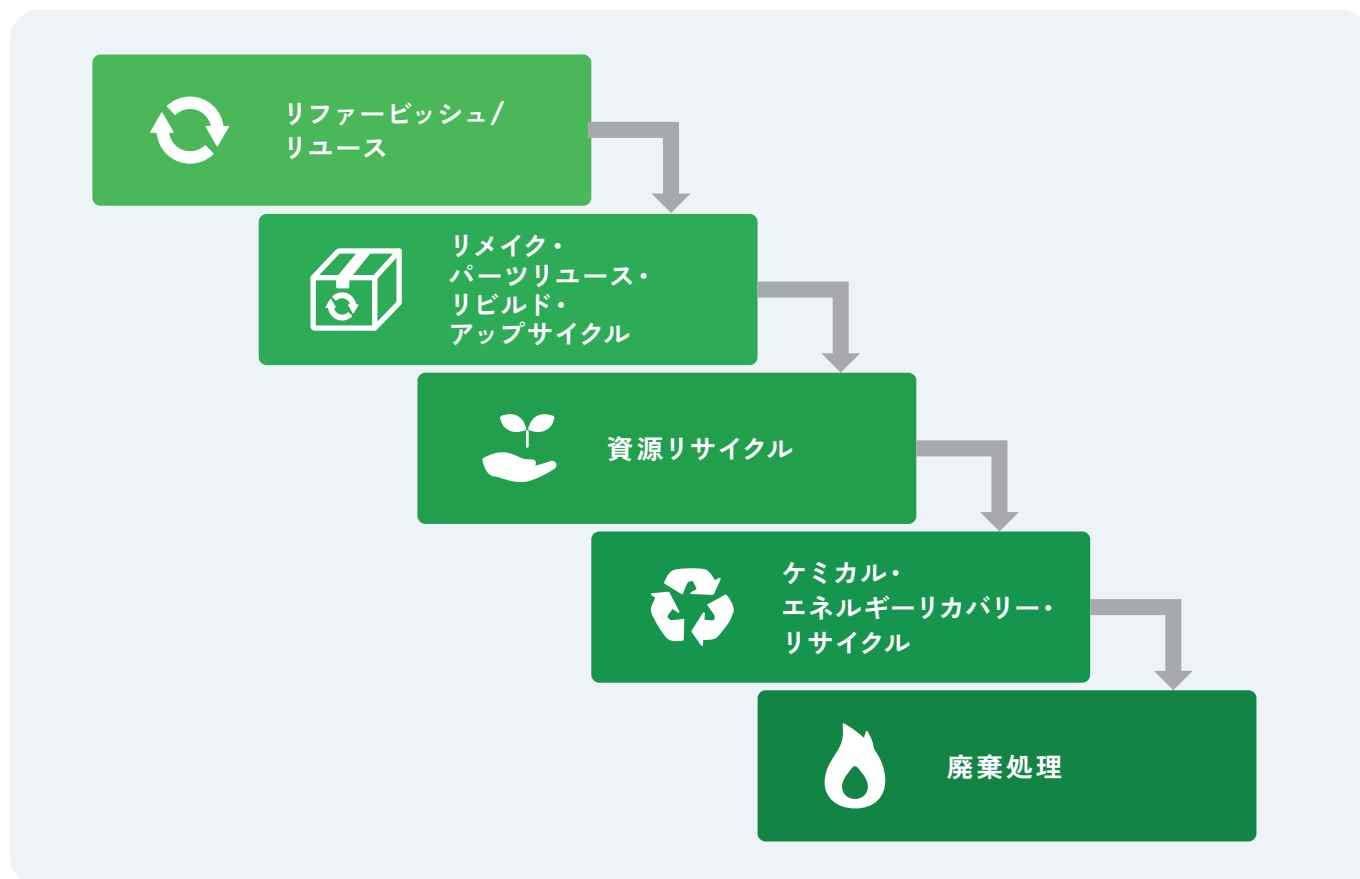


※ GX（グリーントランスフォーメーション）とは、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを通じた、経済社会システム全体の変革です。GXリーグとは、企業が2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みを通じて経済成長を実現し、社会システムの変革へ挑戦し協働する場のことです。

トライシクルの活動

カスケード式再循環の提案

捨てるにはもったいない、まだ使えるものは廃棄物としての受入ではなく、有価物として買取、リユース品として再販売することが可能です。サイ클ーズグループのトライシクル株式会社では、メーカー様の長期滞留品や展示品、下取品を回収しリユースする取組を行っております。排出事業者様には廃棄費用の削減、環境負荷の低減といった観点から高い評価を頂いております。今後もリユース起点のリサイクルスキーム構築により、サーキュラーエコノミーを追求して参ります。



リサイクルセンターについて

千葉県富津市新富に大型のテント倉庫を8棟保有し、リユース品の一括受入、保管が可能です。検品・清掃作業も請け負い、ブランド価値を棄損せず二次流通させております。



取扱商品の一部



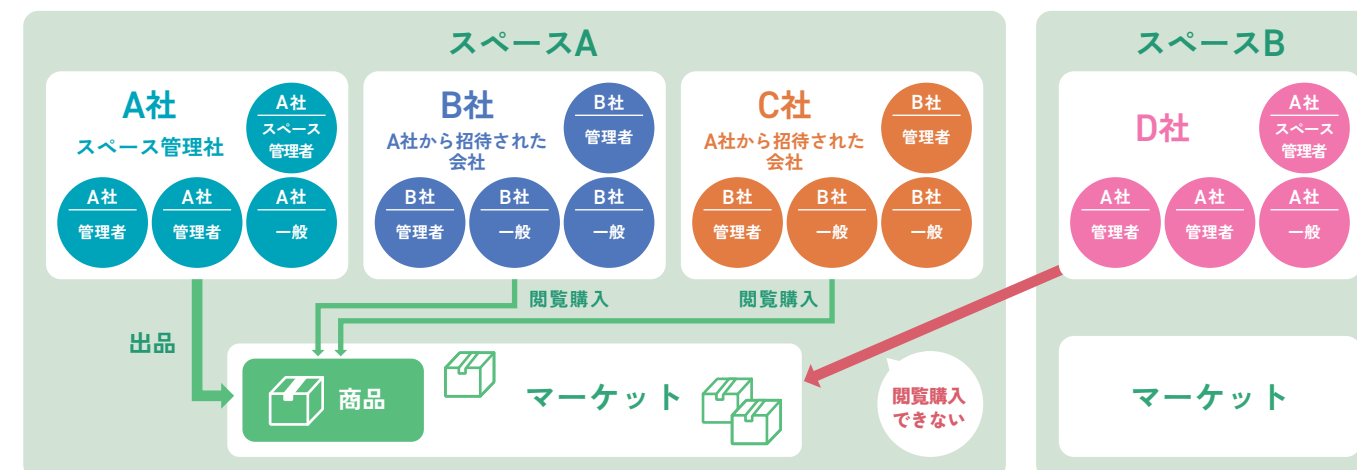
また、メルカリ、Yahoo!ショッピングをはじめとしたECサイト、法人・各種団体販売など豊富なチャネルで販売を行っています。

ReSAC0(サーキュラーエコノミー対応BtoBプラットフォーム)

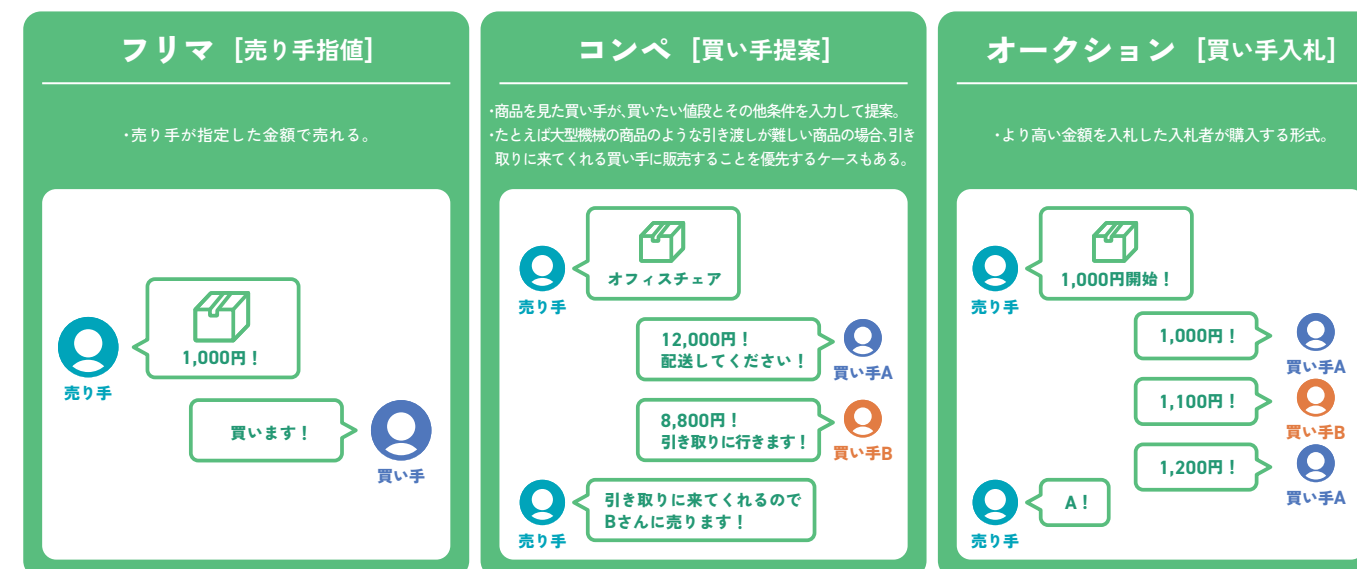
会員制BtoB ECサイトによって、不用品のリユースから最後の処分までワンストップで対応可能です。招待した会社、招待された会社の売買可能であり、販売方法も選択できます。最後の処分についてもスクラップ販売、産業廃棄物処理依頼が可能であり、サーキュラーエコノミーを実現できます。



1. 招待した会社にのみ販売可能 A社が商品を出品した場合、閲覧権限があるのはA社、B社、C社のみであり他スペースからの閲覧並びに購入はできない



2. 販売価格の方法を、お好みでカスタマイズ不要な商品は廃棄依頼も可能



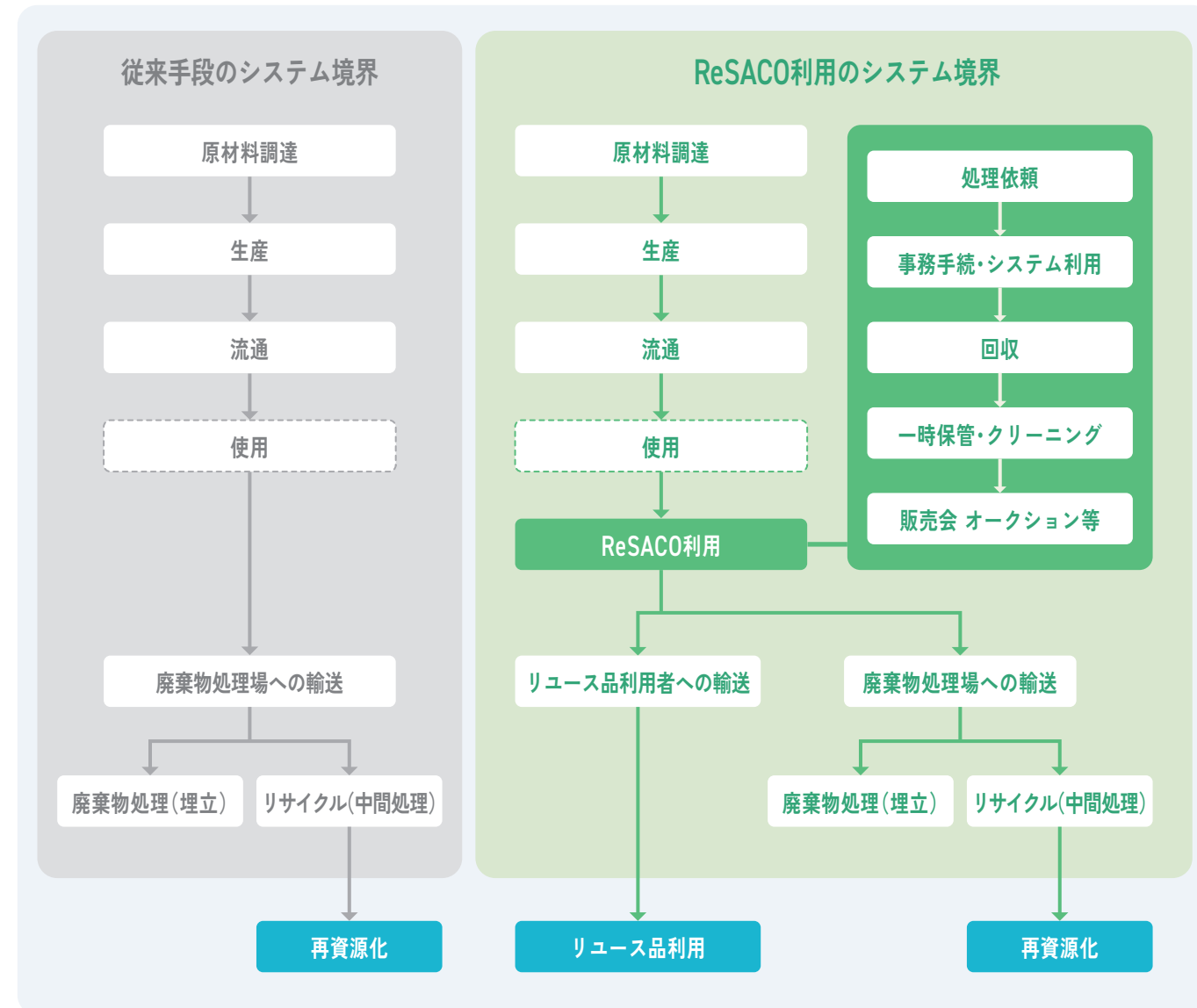
EcoDraft with cloudsign(委託契約の電子化)

産廃・建廃の委託契約を電子化するサービスです。従来、紙で行っていた委託契約を電子化でペーパーレスにすることにより、契約書作成の手間や印紙代・切手代等のコストを大幅に削減します。合意締結部分にはクラウドサインを利用しているため、安全安心に締結できます。また、クラウドサインとはAPI連携を行っているため、エコドラフトで作成した電子契約書をシームレスに合意締結まで行うことができます。多くの会社を導入頂いており、業界のDX推進に貢献しております。



ReSACO事業のLCA

トライシクルが開発・運営するリユースプラットフォーム「ReSACO」において、LCA評価結果は次のとおりです。算定対象としたオフィス家具は事務用椅子・事務用机・書庫です。評価モデルの検討において、算定システム境界は下図の枠内としております。



※廃棄物回収の場合は「一時保管/クリーニング」「販売会 オークション等」は実施なし

従来手段では、家具の原材料調達～廃棄・リサイクル処理まででしたが、ReSACO利用では、家具の原材料調達～ReSACOサービスを利用したリユースもしくは廃棄・リサイクル処理までとしています。

リメイク価値の追求（商品デザイン）

顧客の要求を満たすためのデザインの追求
(リユース向けデザイン、リサイクル系デザイン)



Re:MAKE商品販売



アクリルパネルのリユース



ブランド“enloop”の展開

モノを通じてひとりひとりの人生に寄り添い、その縁をたいせつに紡いでいくブランドを目指します。

1. 人生に寄り添ったモノづくり
2. 価値の最大化

オフィス家具種類別1台あたりのCO2排出量削減効果※

算定結果よりオフィス家具を①廃棄・リサイクルした場合（従来手段）、②リユースした場合（ReSACO）と比較したところ、椅子1台あたり①90kgのCO2を排出、②55kgのCO2を排出、ReSACO利用を通して35kgのCO2を削減（削減率39%）できることが分かっております。

	排出量		削減量	削減率
	①従来手段	②ReSACO		
椅子 1台あたり	90 kg	55 kg	35 kg	39 %
机 1台あたり	135 kg	79 kg	56 kg	41 %
書庫 1台あたり	169 kg	95 kg	75 kg	44 %

※ReSACOサービス全体の算定結果と各家具の取扱量を、処分方法の比率や利用サービスの比率で配分して計算した推計値であるため、処理の受付から処分完了まで個別にトレースして計算した場合と算定値が異なる可能性があります。

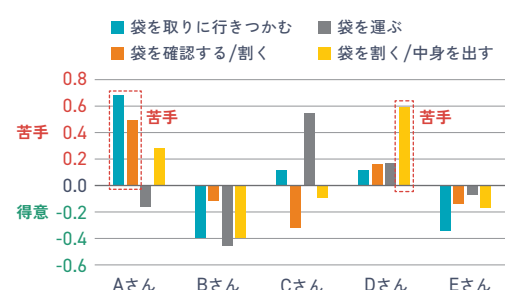
他者との連携

データサイエンスを活用した現場DX

東港金属の廃棄物分別工程における土間選別（地面に廃棄物を下ろし腰を曲げながらの選別作業）は非常に危険で大変な作業です。しかし、危険物の抜き取りやリサイクル率UPには欠かせない重要な作業です。この土間選別を中心に廃棄物処理業の作業を安全に・効率的に行うため、データサイエンスを活用した現場DXの取り組みを行っております。

データ解析

基礎データの取得・分析を通して、課題の見える化・改善提案を行い、課題解決を図っています。



設備開発＋データ解析

課題を解決するため、設備開発を行い、ケガ撲滅・作業不足解消・生産性向上を目指しています。



特許出願 スマートグラス開発

サイクルーズと富山高等専門学校との産学連携の取り組みの中で、混合廃棄物手選別工程におけるスマートグラスを開発し、特許出願を行いました。

TC
Team Cyclers



富山高等専門学校
National Institute of Technology, Toyama College

スマートグラスを選別者が装着することで、簡単に選別が可能となります。



スマートグラスを透しての画像

手選別工程では、対象プラスチックを効率よく選別できず、プラ含有紙・プラ非含有紙を判別するのが難しいといった課題がありました。ピッカー（選別者）がスマートグラスを装着することで、これらの課題を解決することが可能となります。

収集運搬車両にタカノメ導入

2023年4月よりTMLの車両にタカノメを導入いたしました。

タカノメとは、路上に散乱したごみの分布や深刻さを調査、可視化するサービスです。解析情報から得られる課題の活用を検討して参ります。

STEP.1 スマホで 路上を撮影



STEP.2 機械学習で ごみを検知



STEP.3 地域美化に データを活用



タカノメを搭載した
TML株式会社の収集運搬車両



事業所の安全衛生

安全衛生委員会

サイクラーズ、東港金属及びTMLは、事業所別の安全衛生委員会を組織するとともに、労働災害防止に関する8つの分科会を設置しテーマ別に積極的な推進・改善に取り組んでいます。委員会には持株会社サイクラーズの管理部門からも参画しております。

職場安全衛生環境会議

職場安全衛生環境会議を隔月で定期的に開催しております。
産業医の先生にも参加をお願いし、労働安全や職場環境、メンタルを含む健康問題など社員の健康維持に資するテーマについて意見交換を行い、改善アクションにつなげています。

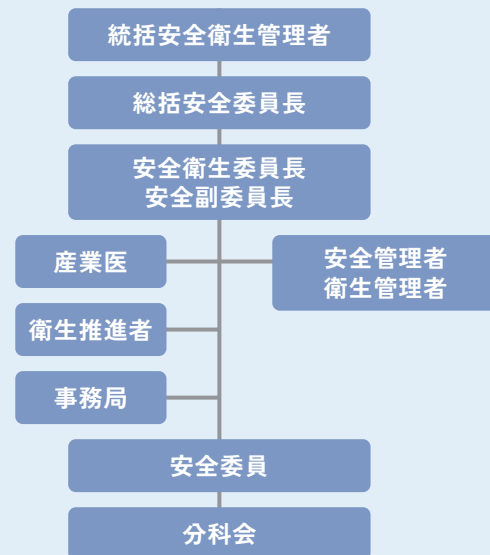
防災訓練

東港金属の京浜島工場及び千葉工場では、過去の大震災時の経験を風化させないように、防火・防災・避難訓練を毎月実施しております。また、工場見学のお客様も増えていることから、社員は災害時に適切な避難誘導ができるように、日頃から災害・防災の正しい知識と対応を習得するように努めています。

安否確認システムの訓練

災害時に、お客様をはじめ社員や社員の家族の安否と被災情報を把握し、会社として迅速な対応ができるように「安否確認システム」を整備しております。年1回、当該システムの訓練を実施し、非常時に備えております。

安全衛生委員会組織表



事業所周辺の美化運動

東港金属の京浜島工場は大田区の京浜島工業団地に位置し、周りを京浜運河が流れています。この広々とした地域の環境保全を維持し、見学に来られるお客様や搬入車が気持ちよく来社していただけるよう、毎朝本社周辺の道路及び搬入通路の美化清掃を行っています。

環境教育・コミュニケーション

環境教育・社内啓発

当グループ入社時には、環境・衛生の基本教育に加え、当グループの事業を通じた環境保全の取り組みや、事業に伴って生じる環境影響・環境側面を伝えております。また、全社員に向けて、環境マネジメントシステム（ISO14001）の教育を実施し、当グループの環境方針や環境管理体制、継続的な改善活動の重要性を伝え、全社員の環境保全意識の向上に努めております。

『マン・オブ・ザ・マンス』表彰制度

東港金属、TMLでは、構内作業のヤード部門と物流のドライバー部門それぞれで他の社員の規範となった社員を『マン・オブ・ザ・マンス』として毎月表彰しております。

地域との共生

災害廃棄物の処理支援事業

東日本大震災では災害廃棄物の処理をはじめ、復興プロジェクトに取り組んでいます。被災地の廃棄物処分場の惨状を目の当たりにしたことから、復興への貢献を企図し、仙台市の郊外を拠点とした名取ヤードを開設しました。能登半島地震ではお取引先様の事業復旧支援、被災地への日本赤十字社を通じての支援などに尽力して参ります。

B.LEAGUEに所属する

”アースフレンズ東京Z”へのサポート

当グループは、東京都城南地区を本拠地としてB.LEAGUEに所属しているプロバスケットボールチームのアースフレンズ東京Zと2019年12月より「パートナー契約」を締結しています。地元のスポーツ振興として東京都大田区で活動しているチームを応援することで地域貢献に寄与して参りました。

2024年6月からはアースフレンズBM（ハンドボールチーム）を応援して参りますので、是非ご声援のほど、よろしくお願いいたします。



安全運転講習会

当グループでは、物流部門において、プロのドライバーとして責任をもって業務に従事するため、年間教育プログラムを策定し、毎月講習会を開催しているほか、東京都トラック協会主催の交通安全や交通公害についての講習会にも積極的に参加しております。「安全・確実・迅速」をモットーとし、安全が全てに優先することの大切さをはじめとして、エコドライブや道路交通法の確認、周囲への気配り等の社員の意識アップを図っています。

情報誌「羅針盤」の発行

サイクラーズ、東港金属、TML及びトライメタルズでは、業界動向や法令改正の情報などのトピックを中心に情報誌「羅針盤」を、2010年3月以来毎月発行しております。バックナンバーは東港金属のホームページからご覧いただけます。

<https://www.tokometal.co.jp/rashinban/>

自転車競技へのサポート

当グループは環境関連企業として、2011年8月より公益財団法人日本自転車競技連盟（JCF）のオフィシャルスポンサーとして世界で戦う自転車競技代表チームを応援しております。日本ナショナルチームのユニホームには「サイクラーズ」のロゴも使われています。また、サイクルロードレースチーム『Team Cyclers SNEL』を結成し、2024年1月よりサイクルロードレースチームとしての活動を開始いたしました。アスリートのセカンドキャリア構築を支援し競技と仕事との両立を目指すデュアルキャリアをグループとして実現します。



コーポレートガバナンス

当グループは、変化の激しい事業環境を的確に捉え、意思決定と業務執行の迅速化を図るとともに、公正で透明性の高い経営の実現を目指し、ガバナンス体制の強化に取り組んでおります。

企業統治

〈基本的な考え方〉

サイ클ーズは、金属スクラップおよび産業廃棄物を取り扱う事業者として、経営の透明性、健全性、効率性、倫理性、順法性の向上・確保を図ることで、企業価値の持続的な拡大を目指します。

サイ클ーズは、当社に関わるすべてのステークホルダーに対して責任ある経営を実現し、長期に亘る企業価値の拡大を実現することを目標としております。

コーポレート・ガバナンス体制

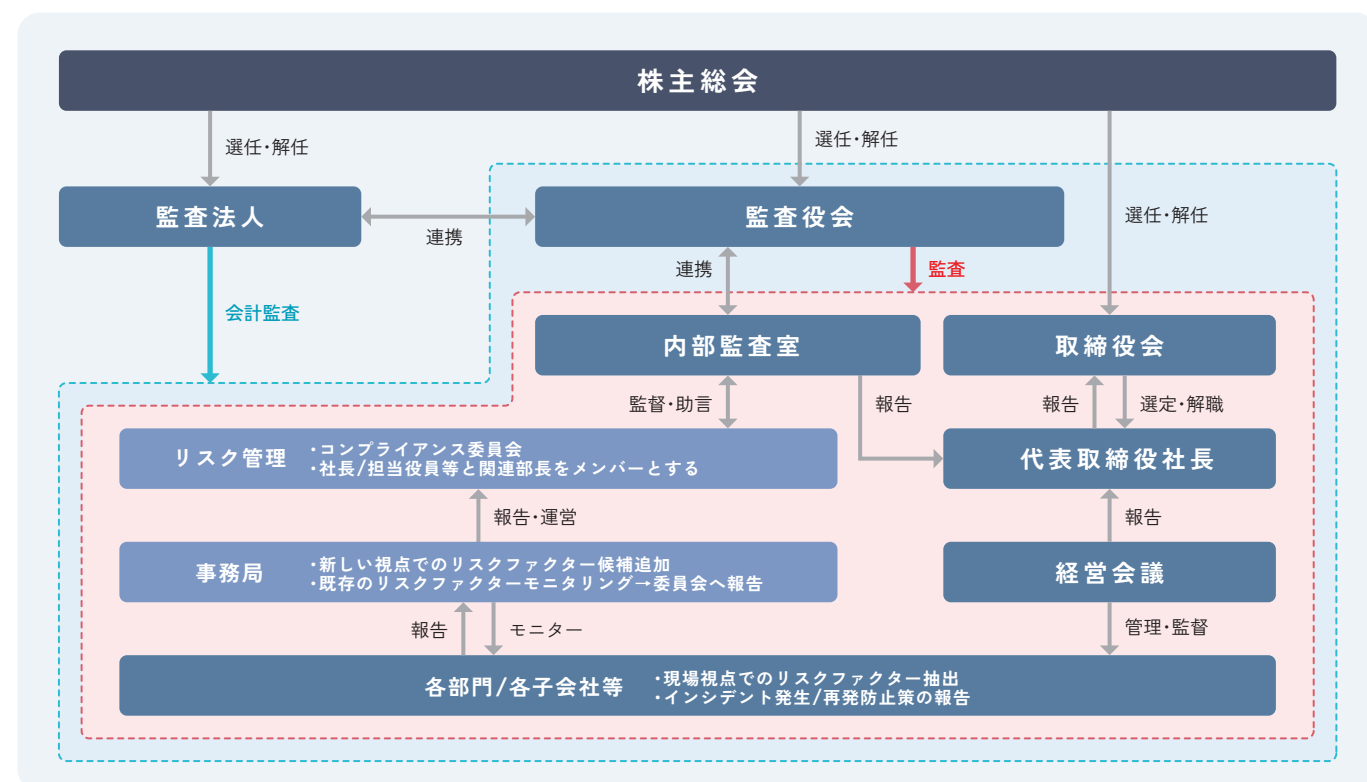
サイ클ーズでは社外取締役2名が令和5年5月1日付で選任され、同日取締役会が設置されました。現在は、社外取締役3名、社内取締役3名の計6名が取締役会において経営に関わる諸方針を討議・決定する体制になっております。

経営会議は、代表取締役社長の他、執行役員をはじめとしたグループ幹部社員がメンバーとなっており、取締役会付議事項以外の様々な経営課題について自由に議論・討議する場となっております。

令和5年5月1日付で社外監査役も選任されております。サイ클ーズは今後も、経営に対する監査機能の充実を図ってまいります。

またサイ클ーズは、適切な業務運営ならびに健全な発展を図るため、代表取締役社長直轄の内部監査室が内部監査を行う体制を整備しました。内部監査室は、当社及び当社グループの監査を実施し、その結果については代表取締役社長へ報告を行います。代表取締役社長は、監査結果を踏まえ、被監査部門に対して内部監査室を通じて監査結果及び必要に応じて改善事項を通達し、改善事項がある場合には、内部監査室を通じて改善状況報告を代表取締役社長に提出させることとしております。

サイ클ーズは、現状の体制に満足することなく、迅速な意思決定と経営監視機能の充実を図り、コーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。



コンプライアンス

当グループは、変化の激しい事業環境を的確に捉え、意思決定と業務執行の迅速化を図るとともに、公正で透明性の高い経営の実現を目指し、ガバナンス体制の強化に取り組んでおります。

内部通報制度

当グループが継続的かつ安定的に発展する妨げとなる法令違反や社内不正などを防止または早期発見して是正することを目的に、内部通報窓口を設置しています。当社の役職員（役員、社員、パート、アルバイト、派遣社員等）が上司を経由せず、直接、電話・メール・手紙などで通報できる仕組みです。また、通報は匿名でも可能で、通報者個人を特定する情報は原則開示しないなど、秘匿性を確保し、安心して利用する環境を整えております。

CCSV=Cyclers Creating Shared Value

我々サイ클ーズグループが目指すサーキュラーエコノミーのビジネスでは、一般の企業活動と異なり、自身の経済価値を高めることが社会的価値の向上にもつながるビジネスと言えます。使用済の製品をリユース、リサイクル、資源化することで、企業としての経済活動にもつながり、環境負荷を軽減するという社会的価値の向上にもつながります。我々は、高い志を持ち、社会課題の解決と経済価値の向上を両立させるCSV経営を実現していきたいと考えております。一方、サーキュラーエコノミーにおけるCSV実現には、現状、課題が多く、その解決に向けて、我々は下記サイ클ーズCSV(CCSV)を意識して、企業活動を展開していきたいと考えております。

1. 経済価値の向上

廃棄物リサイクルでは、不定形であったり、異物が混入しており、処理方法や作業の標準化が難しく、生産効率の低い産業構造となっております。こうした環境下、我々は、DX、IoT、新技術の開発や導入を通じて、高効率のビジネスモデルを構築し、高い経済付加価値を創出するサーキュラーエコノミーを目指します。

2. 環境負荷の軽減

リサイクルビジネスでは、リサイクルが出来ず最終処分に回さざるを得ない廃棄物が出てきてしまいます。我々は、テクノロジーを駆使し、本来最終処分に回わされるものを再資源化し、極力減少、最終的には最終処分のない高度なサーキュラーエコノミーを目指します。

3. 静脈から動脈ビジネスへ

サーキュラーエコノミーの効率性が低い理由の一つとして、製品の設計がリサイクルを意識されていないことが挙げられます。我々サイ클ーズは、上流工程に遡り、日本が得意とするモノづくりの視点からリサイクルし易い製品づくりの為の情報提供に取り組み、より効率性の高い循環社会を目指します。

4. 総合化

環境関連の社会的課題解決の為、サーキュラーエコノミーに関連する幅広い事業に参画し、ビジネスを拡大に取り組んでいきます。

情報セキュリティマネジメントシステム

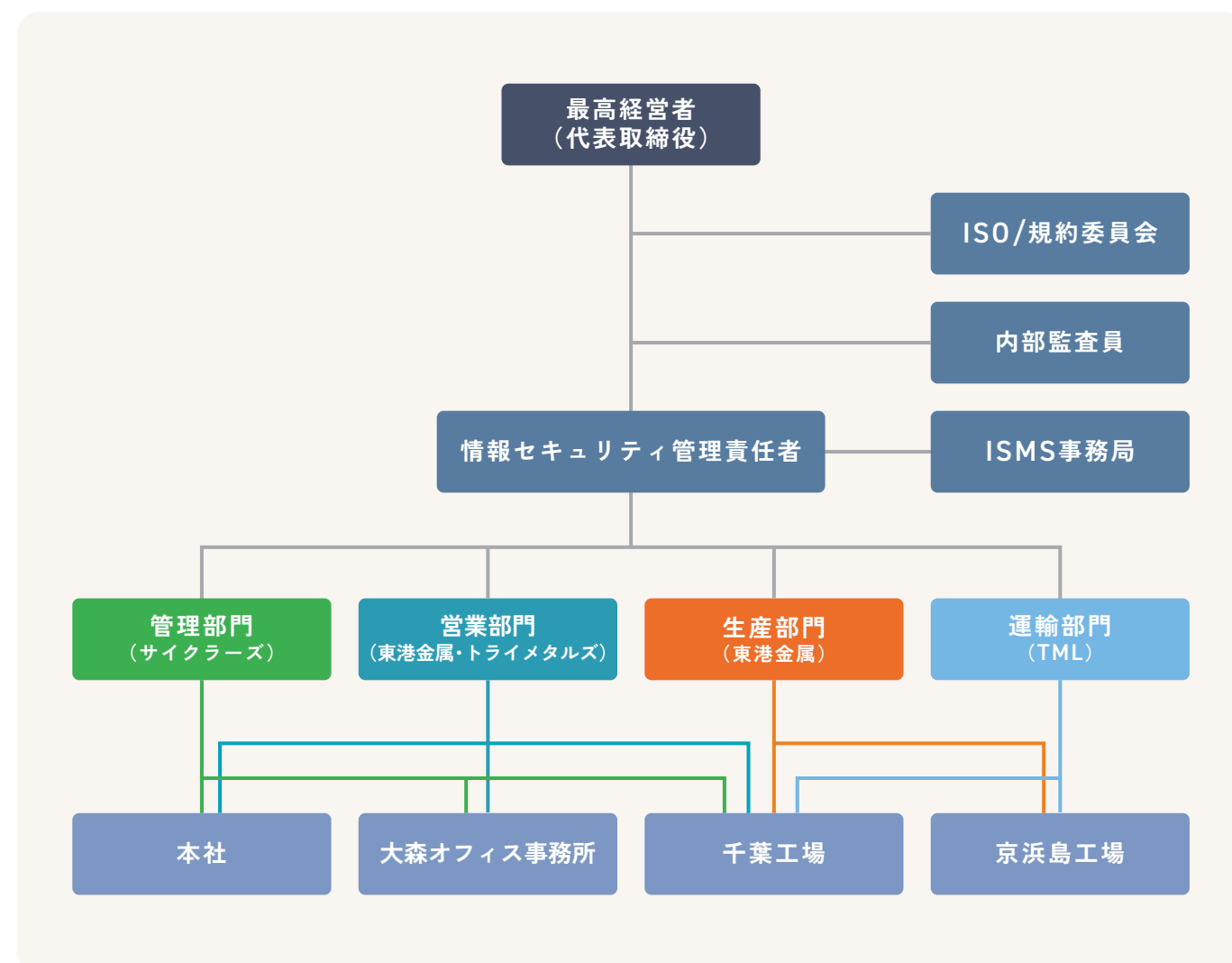
情報セキュリティマネジメント体制(サイ클ラズ、東港金属、TML及びトライメタルズ)

ネット社会の今、不正アクセスやコンピュータウイルスによる被害、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。

東港金属は、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001 の認証取得しており、サイ클ラズ、は2021年4月から、TML及びトライメタルズが2024年4月から加わりました。

また、「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」や「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と会社全体の情報セキュリティを推進することが重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて対策を実行しております。

お客様がかけがえのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、マネジメントシステムの構築、維持のPlan-Do-Check-Act のプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に社員一人ひとりの意識の浸透を図り、推進してまいります。



情報セキュリティ基本方針(サイ클ラズ、東港金属、TML及びトライメタルズ)

1. 目的と活動の原則

サイ클ラズグループ【サイ클ラズ株式会社、東港金属株式会社、TML株式会社、トライメタルズ株式会社】(以下、「当組織」という)は、非鉄金属原料及び製鋼原料等の金属スクラップの加工処理並びに売買、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。

一方、事業の拡大に伴う関連部門間との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。情報セキュリティマネジメントシステム(以下、「ISMS」という)規格に準拠するISMSの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当組織の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一丸となりISMSを実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

3. ISMS組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にISMS事務局を設ける。
また、ISMSのPDCAプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。
情報セキュリティ管理責任者とISMS事務局は、当組織のISMS全般に亘る管理、運営を行う。

4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当組織の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。
また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

企業概要グループ会社情報

社名	サイ클ーズ 株式会社	東港金属 株式会社	TML 株式会社	トライメタルズ 株式会社	トライシクル 株式会社
代表者	代表取締役 福田 隆	代表取締役 福田 隆	代表取締役 青木 卓	代表取締役 村岡 謙一	代表取締役 山田 晃一
本社	〒143-0003 東京都大田区京浜島2-20-4	〒143-0003 東京都大田区京浜島2-20-4	〒143-0003 東京都大田区京浜島2-19-10	〒143-0003 東京都大田区京浜島2-20-4	〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポートD館8階
事業所	大森オフィス 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポートD館8階 千葉事務所/千葉工場 〒293-0011 千葉県富津市新富52-1	大森オフィス 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポートD館8階 千葉事務所/千葉工場 〒293-0011 千葉県富津市新富52-1	-	大森オフィス 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポートD館8階	ReSACOリサイクルセンター 〒293-0011 富津市新富79-1
出資比率	-	サイ클ーズ 100%	サイ클ーズ 100%	サイ클ーズ 100%	サイ클ーズ 100%
設立	2020年9月(令和2年)	1947年12月(昭和22年)	2006年1月(平成18年)	2007年3月(平成19年)	2018年5月(平成30年)
資本金	1億円	1億円	1,000万円	600万円	1,000万円
従業員数	45名(2024年6月1日現在)	180名(2024年6月1日現在)	25名(2024年6月1日現在)	1名(2024年6月1日現在)	14名(2024年6月1日現在)
事業内容	・グループの事業の統括 ・グループの法務、財務、 経理、人事等の統括及び グループ会社からの 当該業務の受託 ・グループのIT戦略・企画及び グループ会社を含む 共有システムの維持管	・産業廃棄物の中間処理 ・金属スクラップ 全般に関する業務 ・プラスチックの リサイクル事業	・金属製品の輸送 ・貨物運送取扱事業	・製銅原料の販売・輸出入 ・非鉄金属製品の販売・輸出入 ・海外リサイクル事業者 との契約	・インターネット サービスの開発 ・インターネット サイトの運営 ・中古品の販売、加工
ウェブ サイト	https://www.cyclers.co.jp/	https://www.tokometal.co.jp/	https://www.tml-ce.com	https://www.trimetals.co.jp/	https://tricycle-ce.com

株式会社 リ・セゾン	株式会社 タツタサイクル	株式会社 インターコム	三立処理工業 株式会社	株式会社 サナース	社名
代表取締役 谷島 遼	代表取締役 小林 永芳	代表取締役 矢部 光朗	代表取締役 青木 卓	代表取締役 海老原 豊	代表者
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポートD館8階	〒141-0031 東京都品川区西五反田6-23-8	〒183-0055 東京都府中市府中町1-26-15 β. 桜通りビル3階	〒210-0847 川崎市川崎区浅田 4-16-7	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区 新羽町178	本社
リサイクルセンター 〒293-0011 富津市新富79-1	-	-	水江事業所 〒210-0866 川崎市川崎区水江町1-2 夜光事業所 〒210-0863 川崎市川崎区夜光 3-3-2 白石事業所 〒210-0857 川崎市川崎区白石5-2	東日本支店北海道営業所 〒003-0829 北海道札幌市白石区 菊水元町9-2-3-11 東日本支店東北営業所 〒989-2204 宮城県亶理郡山元町 鷺足字山崎4-3 九州支店 〒838-0024 福岡県朝倉市牛鶴176-1 木更津マシンプーク 〒292-0204 千葉県木更津市茅野19-1 中国地方販売店 株式会社アクション 〒710-0034 岡山県倉敷市粒江20-50 四国地方販売店 株式会社 エコプランニングパートナー 〒760-0080 香川県高松市木太町1688-1 四国地方林業機械販売店 株式会社高知林業 〒780-8040 高知県高知市神田968-1	事業所
クレディセゾン50% サイ클ーズ 50%	サイ클ーズ 100%	サイ클ーズ 100%	サイ클ーズ 100%	サイ클ーズ 100%	出資比率
2022年8月(令和4年)	1989年1月(平成元年)	1991年2月(平成3年)	1967年7月(昭和42年)	2010年3月(平成22年)	設立
3,000万円	500万円	1,040万円	3,000万円	1,000万円	資本金
-	5名(2024年6月1日現在)	11名(2024年6月1日現在)	36名(2024年6月1日現在)	79名(2024年6月1日現在)	従業員数
・中古OA機器取り扱い	・自転車、バイク関連商品の卸 ・ECチャネルを通じた販売	ネットワークインフラの 設計、構築、保守、運用	・産業廃棄物収集運搬 (液物系) ・PCB除去、施設維持管理	・産業廃棄物処理機器 ・林業機械 ・マテハン機等の輸入販売	事業内容
https://www.re-saison.co.jp/	https://www.tatsuta-cycle.jp/	https://www.it-com.co.jp/	https://www.sanritsu-jp.com/	https://www.sun-earth.jp/	ウェブ サイト

沿革

1902 7月 ■福田勝西商店
商店設立
東京市神田に伸銅品・非鉄金属問屋を開業

1929 4月 ■福田勝西商店
2代目 福田 庸一 就任

1940 4月 ■福田商工合名会社
社名を「福田勝西商店」から
「福田商工合名会社」に変更

1947 5月 ■福田地銅店
会社設立

12月 ■東港金属
会社設立
代表取締役 福田 庸一 就任
地金問屋業 開始

■福田地銅店
会社設立
代表取締役 福田 庸一 就任
製品問屋業 開始

1978 10月 ■東京銅合金工業
社名を「東京精錬
株式会社」から
「東京銅合金
工業株式会社」に変更

1978 4月 ■東京銅合金工業
京浜島工場 開設

■東港金属
京浜島工場 開設

1960s

1960 3月 ■東京精錬
会社設立
銅合金の精錬及び
インゴット製造 開始

1965 2月 ■斉田工機
会社設立

1980s

1985 8月 ■東港金属
代表取締役 福田 勝年 就任

1992 7月 ■メタルポート
社名を「株式会社福田地銅店」から
「株式会社メタルポート」に変更

1994 3月 ■東港金属 京浜島工場
電線リサイクル処理(ナゲット)プラント導入
産業廃棄物中間処理業許可(切断・破砕)
取得:東京都

9月 ■東港金属 京浜島工場
産業廃棄物処分業許可
取得:東京都

1997 ■東港金属
東京銅合金工業を吸収合併

1990s

2000s

2001 4月 ■東港金属
家電リサイクル法に基づき
指定引取場所となる。

2002 9月 ■東港金属
代表取締役 福田 隆 就任

2004 10月 ■東港金属
精錬事業から撤退

11月 ■京浜島工場
電線リサイクルの
ナゲット処理事業から撤退
圧縮梱包機 導入

2006 1月 ■トライマテリアル
会社設立

6月 ■トライマテリアル
一般貨物自動車
運送事業許可 取得

7月 ■トライマテリアル
産業廃棄物収集運搬業許可
取得:東京都

■東港金属 京浜島工場
ISO14001
(環境マネジメントシステム)
取得

2010 2月 ■東港金属
産廃エキスパート 取得

■トライマテリアル
産廃プロフェッショナル
取得

5月 ■京浜島事務所
新事務棟に移転

■京浜島工場
産廃選別ライン 導入

10月 ■東港金属
家電リサイクル法の
指定引取場所 閉鎖

2011 1月 ■トライマテリアルズ
社名を「トライマテリアルズ
関東株式会社」から
「トライマテリアルズ株式会社」に
変更

2010s

2011 11月 ■東北トライメタルズ
会社設立

12月 ■トライメタルズ
ISO9001(品質マネジメントシステム)
取得

2012 1月 ■東港金属
創業110周年を迎える。
産業廃棄物処分業許可/優良産廃処理業者
認定取得:茨城県

12月 ■トライメタルズ
AQSIQ(廃プラスチック、金属くず、
ミックスメタル輸出ライセンス)登録

2014 1月 ■東港金属 千葉工場
ギロチン 導入

■トライメタルズ
スクラップ船積み輸出開始

2015 5月 ■東港金属 千葉工場
自動車リサイクル法に基づく
破砕業許可 取得

2020s

2020 8月 ■東港金属 千葉工場
USSPライン導入

9月 ■サイクラーズ
会社設立 持株会社化

2021 1月 ■東港金属 千葉工場
SSライン導入

■TML
社名を「トライマテリアル株式会社」
から「TML株式会社」に変更

4月 ■トライシクル
『エコドラフト with クラウドサイン』
にて「全産連標準様式 準拠版」
リリース

■サイクラーズ
ISO27001 取得

5月 ■トライシクル
ISO27001及びISO27017取得

7月 ■サイクラーズ
ISO14001 取得

2022 7月 ■サイクラーズグループ
創業120周年を迎える

8月 ■リ・セゾン
会社設立

9月 ■トライシクル
『エコドラフトwith クラウドサイ
ン』にて「統合様式」リリース

2023 2月 ■トライシクル
『エコドラフトwith クラウドサイン』
にて「解体工事請負契約書」
「解体工事請負契約書(下請契約
用)」「解体工事事前調査契約書書
式」リリース

■トライシクル
『エコドラフトwith クラウドサイン』
にて「処分終了証明書様式」リリース

2015 11月 ■東港金属 京浜島工場
ベット・マット剥離機 導入

2016 10月 ■東港金属 京浜島工場
第5ヤード 開設

12月 ■東港金属 京浜島工場
圧縮油圧切断機 導入

2018 5月 ■トライシクル
会社設立

2019 2月 ■トライシクル
ReSACOサービス開始

10月 ■トライシクル
『エコドラフト
with クラウドサイン』
サービス 開始

11月 ■トライシクル
ReSACOリサイクルセンター開設

2023 4月 ■サイクラーズ
「有限会社竜田自転車五反田」の
全株式を取得

■サイクラーズグループ
執行役員制度を導入

5月 ■サイクラーズグループ
取締役会設置会社への移行を決議、
社外取締役及び社外監査役を選任

■サイクラーズグループ
グループ各社のコーポレートロゴを
共通化

■サイクラーズ
GXリーグ参画

■サイクラーズ
「株式会社ピリカ」に出資

7月 ■サイクラーズ
「株式会社インターコム」の
全株式を取得

■サイクラーズ
東京都環境局
「事業系廃棄物3Rルート
多様化事業」に採択

9月 ■サイクラーズ
監査役会設置会社へ移行
監査役を選任

2024 1月 ■サイクラーズ
「三立処理工業株式会社」の
全株式を取得

3月 ■タツタサイクル
社名を「有限会社竜田自転車五反田」から
「株式会社タツタサイクル」に変更

■東港金属
自家消費型太陽光発電設備を
東港金属千葉工場に設置

4月 ■TML及びトライメタルズ
ISO27001取得

6月 ■サイクラーズ
「株式会社サナース」の全株式を取得

各拠点ロケーション・工場情報

〒183-0055
東京都府中市府中町1-26-15 β.桜通りビル3F
株式会社 インターコム 本社
TEL: 042-404-5052 FAX: 042-404-5026

〒140-0013
東京都品川区南大井6-26-3
大森ペルポートD館8階
トライシクル 株式会社 本社
TEL: 03-6410-8780
株式会社 リ・セゾン 本社
TEL: 03-6423-1961 FAX: 03-6423-1962
サイクラーズ 株式会社 大森オフィス
TEL: 03-6410-8797(代) FAX: 03-5767-8870
東港金属 株式会社 大森オフィス
TEL: 03-5767-8860(代) FAX: 03-5767-8870
トライメタルズ 株式会社 大森オフィス
TEL: 03-5767-8866(代) FAX: 03-5767-8870

〒143-0003
東京都大田区京浜島2-19-10
TML 株式会社 本社
TEL: 03-3790-2882(代) FAX: 03-3790-1755

〒201-0847
神奈川県川崎市川崎区浅田4-16-7
三立処理工業 株式会社 本社
●特別管理産業廃棄物
収集運搬
 白石事業所
 水江事業所
 夜光事業所
TEL: 044-355-2861(代) FAX: 044-366-0481

〒141-0031
東京都品川区西五反田6-23-8
株式会社 タツタサイクル 本社
TEL: 03-3492-2983 FAX: 03-3493-7824

〒143-0003
東京都大田区京浜島2-20-4
サイクラーズ 株式会社 本社
TEL: 03-6412-9009 FAX: 03-3790-1755
東港金属 株式会社 本社/京浜島工場
TEL: 03-3790-1751(代) FAX: 03-3790-1755
トライメタルズ 株式会社 本社
TEL: 03-3790-1751(代) FAX: 03-3790-1755

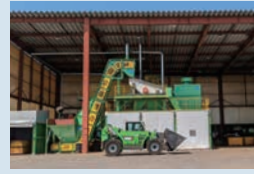
京浜島工場 敷地面積:約3,200坪
●24時間362日受け入れ
●夜間WEB予約システム
【主要生産設備】
・切断機(スクラップシャワー) ・シャーリング機
・選別機 ・剥線機
・産廃シュレッダー ・銅プレス機
・圧縮梱包機 ・ベトナム剥離機
・アルミプレス機 ・切断機
・ラップマシーン ・風力・比重選別機
・集塵機


〒293-0011
千葉県富津市新富52-1
サイクラーズ 株式会社 千葉事務所
TEL: 0439-80-4545(代) FAX: 0439-80-4646
東港金属 株式会社 千葉事務所/千葉工場
TEL: 0439-80-4545(代) FAX: 0439-80-4646
TML 株式会社 千葉営業所
TEL: 03-3790-2882(代) FAX: 03-3790-1755

〒293-0011
千葉県富津市新富79-1
トライシクル株式会社 ReSACOリサイクルセンター
株式会社 リ・セゾン リサイクルセンター

〒223-0057
神奈川県横浜市港北区新羽町178
株式会社サナース 本社
●機械設備販売商社 ●プラント設備提案

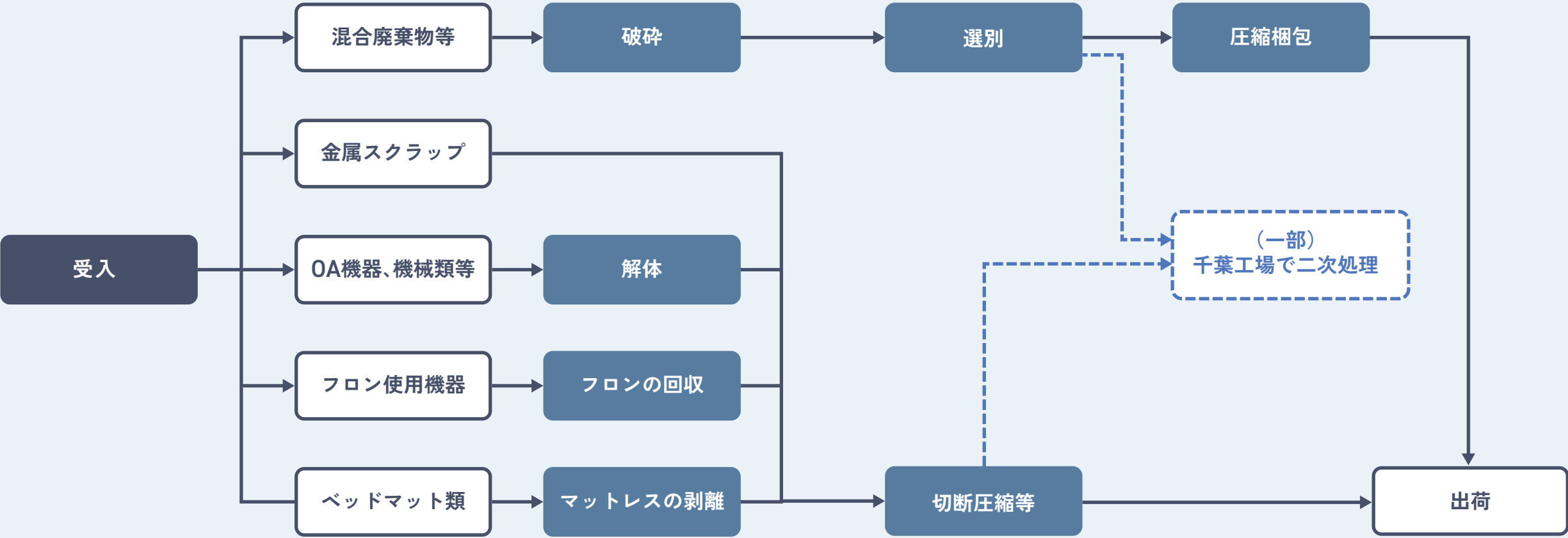
〒292-0204
千葉県木更津市茅野19-1
株式会社サナース 木更津マシンパーク
TEL: 045-534-2270(代) FAX: 045-534-2272

千葉工場/リサイクルセンター 敷地面積:約35,000坪
●欧州諸国と遜色ない先進のリサイクル設備
●バンニング対応可能なリユース品専用テント倉庫
●各種破砕機・選別機の実機デモ販売
【主要生産設備】
・産廃シュレッダー
・サイジングドラム
・ドラム式磁選機
・吊り下げ磁選機
・非鉄選別機
・カラーセンサー動続選別機
・一次集塵機
・切断機
・プレス機
 リユース品専用の大型テント倉庫
 USSPライン
 SSライン

リサイクルフロー

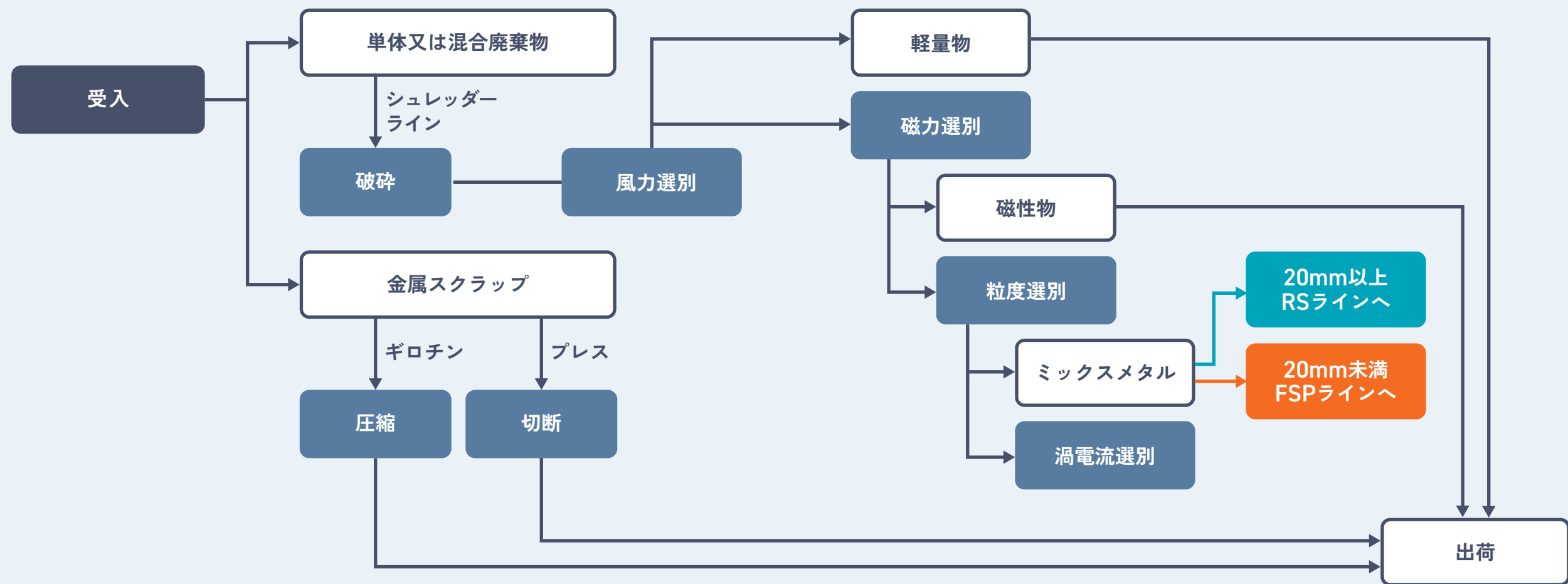
京浜島工場リサイクルフロー

- 24時間363日受け入れ可能、都内随一の取扱量・品目を誇る
- 大田区京浜島の好立地を生かした生産拠点



千葉工場リサイクルフロー/シュレッダーライン&ギロチン&プレス

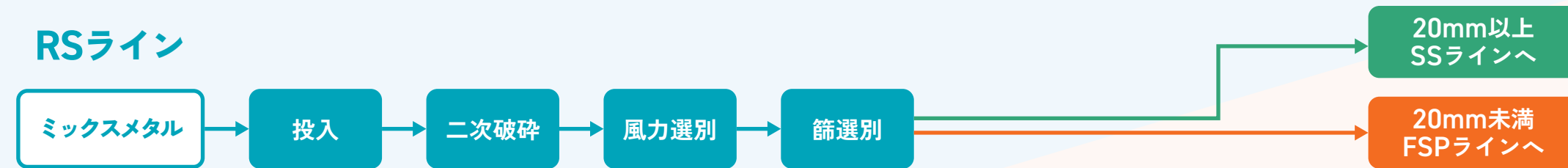
■ ドイツ製メインシュレッダー(1000馬力)により幅広い部材のリサイクルに対応



千葉工場リサイクルフロー2

■ 世界水準の選別技術でミックスメタルを極限までリサイクル

RSライン



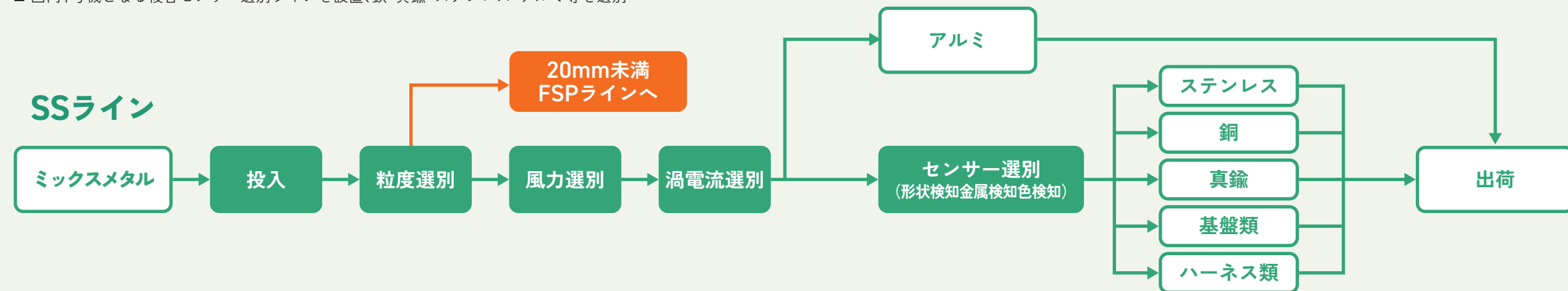
FSPライン



千葉工場リサイクルフロー2

■ 国内1号機となる複合センサー選別ラインを設置、鉄・真鍮・ステンレス・アルミ等を選別

SSライン



許可・認定・認証

サイ클ラズ
◆ISO 14001認証【本社】
◆ISO 27001認証【本社】

トライシクル
特定労働者派遣事業許可
◆古物商 第302161904671号
◆ISO 27001認証【本社】
◆ISO 27017認証【本社】

トライメタルズ
◆ISO 27001認証

東港金属
◆産業廃棄物収集運搬業（優良産廃処理業者認定）
◆産業廃棄物処分業（中間処理）（優良産廃処理業者認定）
◆自動車リサイクル法に基づく破砕業（千葉工場のみ）
◆古物商 第301139601116号
◆東京都 産廃エキスパート認定（中間処理及び収集運搬業）
◆第1種フロン類充填回収業者登録
◆ISO 14001認証【本社・京浜島工場、千葉工場】
◆ISO 27001認証【本社・京浜島工場、千葉工場】

TML
◆産業廃棄物収集運搬業許可（優良産廃処理業者認定）
◆特別管理産業廃棄物収集運搬業
◆東京都 産廃エキスパート認定（収集運搬業）
◆ISO14001認証【本社】
◆ISO 27001認証【本社】

リ・セゾン
◆古物商第302162220111号
◆ISO 27001認証

東港金属及びTML（特別管理）産業廃棄物収集運搬業 許可一覧表

当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。東港金属及びTMLのホームページからもアクセスできます。

2024年7月現在

会社名		取得都道府県名	許可品目（●は石綿含有物質を含む、◎は水銀使用製品廃棄物を含む、○は石綿含有物質及び水銀使用製品廃棄物を含む）																優良産廃処理業者認定制度による優良認定
			産業廃棄物												特別管理産業廃棄物				
			汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	及び陶磁器くず	ガラスくず、コンクリートくず	がれき類	廃酸	廃アルカリ	
東港金属株式会社	産業廃棄物	岩手県					●	●	●	●		●	●	●					○
		福島県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○
		茨城県		○			●		○			◎	●	●					○
		栃木県		○			●	○	○	○		◎	●	●	●				○
		埼玉県	○	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		千葉県	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		東京都	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○
		神奈川県	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		静岡県					◎		○			◎	◎	○					○
TML株式会社	産業廃棄物	岩手県					●	●	●	●		●	●	●					○
		秋田県	●	○	○	○	●※	○	○	○	○	◎※	●※	●	●				
		山形県	●	●	●	●	●※	●	●	●	●	●※	●※	●	●				
		福島県					●	●	●	●		●	●	●	●				○
		茨城県	●	○			●	○	○	○		◎	●	●	●				○
		栃木県	●	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		群馬県	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		埼玉県	●	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		千葉県	●	○	○	○	●※	○	○	○	○	◎※	●※	●	●				○
		東京都	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○
		神奈川県	●	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		長野県	●	○	○	○	●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		静岡県					●	○	○	○	○	◎	●	●	●				○
		愛知県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	特別管理廃棄物	千葉県														○	○	○	○
		東京都														○	○	○	○
		神奈川県														○	○	○	○

※TMLは、秋田県、山形県及び千葉県の産業廃棄物の許可品目の中で、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずには自動車等破砕物を含みます。
注）「廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令」が改正され、産業廃棄物収集運搬業（保管積換えなし）及び特別管理産業廃棄物収集運搬業（保管積換えなし）の許可が合理化され、これまでは（特別管理）産業廃棄物の収集運搬については、積卸しを行う全ての都道府県又は政令市の許可を受けなければなりませんでした。が、平成23年4月1日より原則として、一の政令市を越えて収集運搬を行う場合は、都道府県の許可のみで当該都道府県内全域で収集運搬を行なうことができるようになりました。

東港金属の産業廃棄物処分許可一覧

当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。東港金属のホームページからもアクセスできます。

2024年7月現在

取得都道府県名	許可品目								優良産廃処理業者認定制度による優良認定
	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	及び陶磁器くず	ガラスくず、コンクリートくず	がれき類
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	○	○	○	○		○	○		○

社員の主な資格一覧（サイ클ラズ、東港金属、TML及びトライメタルズ）

2024年5月31日現在

資格	人数	資格	人数
フォークリフト運転技能者	111	中型自動車運転免許	109
玉掛作業者	78	簿記	11
車両系建設機械（整地・運搬・積み込み及び掘削用）運転者	74	自動車整備士	3
車両系建設機械（解体）運転者	53	2級土木施工管理技士	1
小型移動式クレーン運転士	45	第一種電気工事士	0
移動式クレーン運転士5t未満	6	第二種電気工事士	5
移動式クレーン運転士	7	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	2
床上操作式クレーン運転士	15	足場の組立て等作業主任者	5
クレーン運転士5t未満	17	特定化学物質作業主任者	1
クレーンデリック運転士	2	有機溶剤作業主任者	4
クレーンデリック（クレーン限定）	4	酸素欠乏危険作業主任者	6
ガス溶接技能者	36	不整地運搬車運転者	3
アーク溶接作業者	24	低圧電気取扱者	1
高所作業車運転者	23	特定粉じん作業者	3
危険物取扱者	6	ボイラー技士	2
破砕・リサイクル施設技術管理士	2	2級機械製図作業	0
はい作業主任者	9	栄養士	0
冷媒回収技能者（登録講習会）	7	救命技能認定	6
古物商許可	1	陸災防安全衛生教育講師	0
安全衛生推進者	11	職長教育	25
安全管理者	5	安全衛生責任者	20
防火管理者	4	第二種外務員資格	1
衛生管理者	1	実用英語技能検定2級	2
産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程（新規/更新）	2	宅地建物取引主任者	2
産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程（更新）	2	秘書技能検定	1
産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程（新規/更新）	4	派遣元責任者	2
産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程（更新）	3	交通労働災害防止担当管理者	1
整備管理者	3	ダイオキシン類特別教育インストラクター	1
運行管理者	4	産業廃棄物処理業者講習会	3
けん引免許	18	特別管理産業廃棄物管理責任者	2
大型特殊免許	18	PCB廃棄物の収集運搬業従事者（講習）	2
大型自動車免許	47	ISO14001内部監査員	6
大型自動車二種免許	9	ISO27001内部監査員	3